

## 授業計画表

ドッグトレーナー

科

MCL盛岡ペットワールド専門学校

<b>科目名</b> 動物飼養管理総論 I (健康管理学 I)	<b>教員名</b> 高坂 恵梨香	
<b>科目時間数:</b> 40 時間	<b>授業の種類:</b> <input checked="" type="radio"/> 講義 ・ 演習 ・ 実習	
<b>必修・選択の別:</b> <input checked="" type="radio"/> 必修 ・ 選択	<b>配当学年:</b> 1 <b>開講時期:</b> <input checked="" type="radio"/> 前期 ・ <input checked="" type="radio"/> 後期 ・ 集中	
<p><b>【授業の目的・ねらい】</b> 犬のステージに合わせた健康管理の仕方について説明し実行できる</p> <p><b>【ドッグトレーナー科ディプロマポリシーとの関連】</b>  <input checked="" type="radio"/> 犬や飼い主の要望に合わせたサポートができる  <input checked="" type="radio"/> 人と動物のより良い関係づくりのために活動ができる            3. 動物と人の気持ちを考え、コミュニケーションが取れる            4. 社会で活躍と働くという心構えができています</p> <p><b>【授業全体の内容の概要】</b> 犬の健康管理の仕方について学ぶ</p> <p><b>【授業における達成課題】</b> 健康管理の仕方について説明し実行できる 筆記試験で正答が60%以上</p>		
	使用教材	出版社
学生用	コンパニオンアニマルの健康管理学	インターズー
<b>【教員担当の実務経験の有無】</b> <input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無		
<b>【内 容】</b> 動物病院で動物看護師として勤務経験がある		
<b>【評価方法とその内容】</b> 筆記試験で正答率60%以上、授業出席率80%		
<b>【必要な予習等の内容】</b> 次回授業に向けて教科書を一読することを指示して実行する		

科目名 動物飼養管理総論Ⅰ（健康管理学）		科目時間総数 40	時間	教員名 高坂 恵梨香
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標		
1 回	犬猫の日常の健康管理	バイタルサイン（T・P・R・CRT）の測り方、基準値を覚えて言えるようになる		
2 回	犬猫の日常の健康管理	排尿、排便の正常・異常を理解する		
3 回	犬猫の日常の健康管理	ブラッシング、シャンプーについての基本を理解する。		
4 回	犬猫の日常の健康管理	耳・目の手入れ、爪切り、肛門腺絞りについての基本を理解する。		
5 回	犬猫の日常の健康管理	歯の構造・分類・歯式・萌出時期を理解する。		
6 回	犬猫の日常の健康管理	幼犬や猫で注意する口腔内疾患を理解する。		
7 回	犬猫の日常の健康管理	正常咬合、不正咬合について理解する。		
8 回	犬猫の日常の健康管理	代表的な口腔疾患である齲歯、歯周病について原因と予防法を理解する		
9 回	犬猫の日常の健康管理	犬猫の歯磨きの仕方を理解し、飼い主さんへアドバイスできるようになる		
10 回	犬猫の日常の健康管理	歯石除去のおおまかな流れ、方法を理解する		
11 回	犬猫の日常の健康管理 まとめ	日常の健康管理についての確認テストにより理解を深める		
12 回	狂犬病について	狂犬病予防法について理解する		
13 回	狂犬病について	狂犬病の原因となる病原体、感染経路、症状について理解する		
14 回	狂犬病について	狂犬病の予防のポイントを理解する		
15 回	ワクチンについて	ワクチンの定義・意義、種類（生・不活化）を理解する		
16 回	ワクチンについて	ワクチン接種時と接種後の注意を理解する		
17 回	ワクチンについて	ワクチン接種プログラムについて理解する		
18 回	ワクチンについて	犬猫のワクチンで予防できる病気を理解する		
19 回	去勢・避妊手術	避妊・去勢手術の方法、適期、手術を行うメリット・デメリットを理解		
20 回	犬糸状虫症	寄生動物、寄生部位、ライフサイクルについて理解する		
21 回	犬糸状虫症	症状、診断、治療、予防について理解する		
22 回	去勢、避妊等のまとめ	去勢・避妊手術、犬糸状虫症についての確認テストにより理解を深める		
23 回	外部寄生虫	ノミ・マダニ・犬毛包虫のライフサイクル、症状、予防法について理解		
24 回	外部寄生虫	ノミ・マダニ・犬毛包虫のライフサイクル、症状、予防法について理解		
25 回	外部寄生虫	ヒゼンダニ、ミミヒゼンダニ、ツメダニ、ハジラミのライフサイクル、症状、予防法について理解する		
26 回	外部寄生虫まとめ	外部寄生虫についての確認テストで理解を深める		
27 回	腸管内寄生虫	回虫、鉤虫、鞭虫のライフサイクル、症状、予防法について理解する		
28 回	腸管内寄生虫	幼虫移行症の症状、予防法について理解する		
29 回	腸管内寄生虫	犬条虫、猫条虫、マンソン裂頭条虫のライフサイクル、症状、予防法について理解する		
30 回	腸管内寄生虫	コクシジウム、腸トリコモナス、ジアルジアの症状、感染経路、予防法について理解する		

時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標
31 回	腸管内寄生虫まとめ	腸管内寄生虫についての確認テストにより理解を深める
32 回	栄養学の基本的知識	五大栄養素、動物のエネルギー要求量について理解する
33 回	栄養学の基本的知識	安静時エネルギー要求量、1日のエネルギー要求量の求め方を理解する
34 回	感染症とその予防	感染症とは何か、また感染の形態を理解する
35 回	感染症とその予防	感染経路、感染症の予防法について理解する
36 回	滅菌法と消毒法	滅菌と消毒の定義、方法を理解する
37 回	滅菌法と消毒法	各消毒薬の特徴を理解する
38 回	滅菌法と消毒法	書毒薬の希釈方法を理解する
39 回	感染症等のまとめ	感染症・予防、滅菌・消毒法についての確認テストにより理解を深める
40 回	健康管理学総まとめ	確認テストにより理解を深める

## 授業計画表

ドッグトレーナー 科

MCL盛岡ペットワールド専門学校

<b>科目名</b> 動物飼養管理総論 I (愛玩動物飼養管理 学)	<b>教員名</b> 平元 尚人
<b>科目時間数:</b> 30 時間	<b>授業の種類:</b> 講義 ・ 演習 ・ 実習
<b>必修・選択の別:</b> 必修・選択	<b>配当学年:</b> 1 <b>開講時期:</b> 前期・後期・集中
<p><b>【授業の目的・ねらい】</b> 動物全体への理解を深め、またそれらに伴う、法律や責任、社会的役割などを学び、動物を取り扱う職業につくための基礎を身に着けて、愛玩動物飼養管理士試験の合格を目指す。</p> <p><b>【ドッグトレーナー科ディプロマポリシーとの関連】</b>            ① 犬や飼い主の要望に合わせたサポートができる            ② 人と動物のより良い関係づくりのために活動ができる            ③ 動物と人の気持ちを考え、コミュニケーションが取れる            ④ 社会で活躍と働くという心構えができています</p> <p><b>【授業全体の内容の概要】</b> 人と動物の関係学や、動物関係法令を課題報告問題、過去問題集を事例にしながら一問の選択肢一つ一つを解説していく。全111問中選択肢が5つあるので約555問について、考察や実際にあった事例を踏まえ、教科書により進めていく。</p> <p><b>【授業における達成課題】</b> 課題報告問題及び過去問題集の正答率が80%以上 愛玩動物飼養管理士試験 合格</p>	
	<b>使用教材</b>
学生用	愛玩動物飼養管理士 2級、1巻2巻
	<b>出版社</b>
	公益社団法人日本愛玩動物協会
<p><b>【教員担当の実務経験の有無】</b> <input checked="" type="radio"/> 有 ・ <input type="radio"/> 無</p> <p><b>【内 容】</b> ペットショップ販売員（動物取扱責任者）の経験がある。愛玩動物飼養管理士1級資格所持。</p>	
<p><b>【評価方法とその内容】</b> 課題報告問題における正答率80%以上</p>	
<p><b>【必要な予習等の内容】</b> 授業で解説を行う問題の前後5問のページ番号および解説の書き込みを指示し実行する</p>	

科目名 動物飼養管理総論Ⅰ（愛玩動物飼養管理学）		科目時間総数 30 時間	教員名 平元 尚人
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標	
1 回	オリエンテーション	愛玩動物飼養管理士2級の資格合格を目指し、最終的に何が身についていればよいかを具体的にイメージする	
2 回	愛玩動物飼養管理士の社会活動について	愛玩動物飼養管理士の活動とそれらの歴史、運用機関を理解し、課題報告問題を解くことができる	
3 回	動物愛護論	動物愛護の歴史、動物観、思想を理解し課題報告問題を解くことができる	
4 回	人と動物の関係学	人と動物の関係、思想、動物の効用を理解し課題報告問題を解くことができる	
5 回	動物関係法令概説	法令の施行基準、法律の定められた生き物、制定経緯を理解し課題報告問題を解くことができる	
6 回	動物関係法令概説	法令の施行基準、法律の定められた生き物、制定経緯を理解し課題報告問題を解くことができる	
7 回	動物関係法令概説	法律の目的、基本原則、普及啓発を理解し課題報告問題を解くことができる	
8 回	動物関係法令概説	法律の目的、基本原則、普及啓発を理解し課題報告問題を解くことができる	
9 回	動物関係法令概説	保管に関する基準、家庭動物に関する基準、展示動物に関する基準を理解し課題報告問題を解くことができる	
10 回	動物関係法令概説	保管に関する基準、家庭動物に関する基準、展示動物に関する基準を理解し課題報告問題を解くことができる	
11 回	動物関係法令概説	第一種、第二種動物取扱業の基準、周辺環境の保全、罰則を理解し課題報告問題を解くことができる	
12 回	動物関係法令概説	第一種、第二種動物取扱業の基準、周辺環境の保全、罰則を理解し課題報告問題を解くことができる	
13 回	動物関係法令概説	第一種、第二種動物取扱業の基準、周辺環境の保全、罰則を理解し課題報告問題を解くことができる	
14 回	課題報告問題	課題報告問題をすべて解き、マークシート提出をできるようにもれなく記入をする。	
15 回	動物の体の仕組みと働き	細胞小器官、筋肉、消化酵素、各種臓器を理解し課題報告問題を解くことができる	
16 回	動物の体の仕組みと働き	細胞小器官、筋肉、消化酵素、各種臓器を理解し課題報告問題を解くことができる	
17 回	動物の飼養管理	犬の習性、病因論、健康と疾病の関連性を理解し課題報告問題を解くことができる	
18 回	動物の飼養管理	犬の習性、病因論、健康と疾病の関連性を理解し課題報告問題を解くことができる	
19 回	動物の飼養管理	消毒薬、環境衛生、飼養衛星、管理衛星、公衆衛生を理解し課題報告問題を解くことができる	
20 回	動物の飼養管理	消毒薬、環境衛生、飼養衛星、管理衛星、公衆衛生を理解し課題報告問題を解くことができる	
21 回	動物の飼養管理	事故への対応、災害への備え、血統書、犬の分類と歴史を理解し課題報告問題を解くことができる	
22 回	動物の飼養管理	事故への対応、災害への備え、血統書、犬の分類と歴史を理解し課題報告問題を解くことができる	
23 回	動物の飼養管理	犬の特徴、犬との生活、犬の発情を理解し課題報告問題を解くことができる	
24 回	動物の飼養管理	犬の特徴、犬との生活、犬の発情を理解し課題報告問題を解くことができる	
25 回	動物の飼養管理	動物の習性、特徴を理解し課題報告問題を解くことができる	
26 回	動物の飼養管理	動物の習性、特徴を理解し課題報告問題を解くことができる	
27 回	動物の飼養管理	動物の習性、特徴を理解し課題報告問題を解くことができる	
28 回	動物のしつけ	動物の学習、条件付け、刷り込みを理解し課題報告問題を解くことができる	
29 回	動物のしつけ	動物の社会化、しつけ、猫の適切な飼養を理解し課題報告問題を解くことができる	
30 回	総復習	愛玩動物飼養管理士における重要点を理解し課題報告問題及び、過去問題集を解くことができる	

## 授業計画表

ドッグトレーナー 科

MCL盛岡ペットワールド専門学校

<b>科目名</b> 動物飼養管理総論Ⅰ (飼育学Ⅰ)	<b>教員名</b> 市村 香織	
<b>科目時間数:</b> 30 時間	<b>授業の種類:</b> 講義 ・ 演習 ・ 実習	
<b>必修・選択の別:</b> 必修・選択	<b>配当学年:</b> 1 <b>開講時期:</b> 前期・後期・集中	
<p><b>【授業の目的・ねらい】</b>          犬と人間の違いを知り、成犬を心身共に健康的に飼育管理する知識を身に付ける。</p> <p><b>〔ドッグトレーナー科ディプロマポリシーとの関連〕</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 犬や飼い主の要望に合わせたサポートができる</li> <li>② 人と動物のより良い関係づくりのために活動ができる</li> <li>3. 動物と人の気持ちを考え、コミュニケーションが取れる</li> <li>4. 社会で活躍と働くという心構えができています</li> </ol> <p><b>【授業全体の内容の概要】</b>          犬の成長過程、犬のニーズを満たす飼育管理法、飼い主の責任と義務について、座学形式で授業を受け、知識を身に付ける。</p> <p><b>【授業における達成課題】</b>          筆記試験において80%以上の正答する。          成犬の飼育管理に関すること「犬の成長」「食事」「運動」「環境」「社会的関わり」「性的欲求」の質問に答えることができる。          一般飼い主が知るべき法律やマナーを知り、指導ができる。</p>		
	使用教材	出版社
学生用	プリント等	
<b>【教員担当の実務経験の有無】</b> 有 ・ 無 <b>【内 容】</b> ドッグトレーナーとしての勤務経験がある。		
<b>【評価方法とその内容】</b> 筆記試験において正答が80%以上、授業出席率80%以上。		
<b>【必要な予習等の内容】</b> 配布資料（プリント等）の復習をして、次回の授業に参加するように指示をして実行する。		

科目名		科目時間総数	教員名
動物飼養管理総論Ⅰ（飼育学Ⅰ）		30	市村 香織
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標	
1 回	学校の飼育当番について	学校の飼育当番の手順を説明できる。	
2 回	学校の飼育当番について	学校の飼育当番の手順を説明できる。	
3 回	人と犬の違い 目・耳	犬の視覚、聴覚について説明できる。	
4 回	人と犬の違い 食性と味覚	犬の食性や味の好みを理解し、答えることができる。	
5 回	人と犬の違い 思考	犬の思考について理解し、説明できる。	
6 回	人と犬の違い 言葉	犬のコミュニケーションツールを理解し、説明できる。	
7 回	犬の成長	新生児～幼年期までに、犬にどんな成長が見られるか説明できる。犬が親兄弟から学ぶ重要な項目を3つ説明できる。	
8 回	犬の成長	少年期～成年期までに、犬にどんな成長が見られるか説明できる。社会化とは何かを説明できる。	
9 回	犬の成長	少年期～成年期までに、犬にどんな成長が見られるか説明できる。社会化とは何かを説明できる。	
10 回	犬具 首輪、リード	首輪とリードの種類を理解し、説明できる。	
11 回	犬具 クレート	クレートの種類を理解し、説明できる。	
12 回	犬具 コング	コングの使い方を理解し、正しい使い方を説明できる。	
13 回	5つの自由 犬のニーズ	5つの自由とは何か説明できる。 犬のニーズとは何か答えることができる。	
14 回	飼い主の義務とマナー	飼い主の義務を答えることができる。	
15 回	飼い主の義務とマナー	飼い主としてのマナーを答えることができる。	
16 回	犬の飼育 環境	成犬を適切に飼育する環境を理解し、室内飼育のメリットを説明できる。	
17 回	犬の飼育 環境	成犬を適切に飼育する環境を理解し、適切な湿度・室温を答えることができる。	
18 回	犬の飼育 環境	成犬を適切に飼育する環境を理解し、休息場所を作るポイントを説明できる。	
19 回	犬の飼育 食事	犬の食事のタイプを3つ理解し、特徴を説明できる。	
20 回	犬の飼育 食事	犬の食事の与え方の工夫を理解し、説明できる。	
21 回	犬の飼育 食事	犬が食事を食べなかった時の対処を答えることができる。	
22 回	犬の飼育 散歩	散歩の目的を理解し答えることができる。	
23 回	犬の飼育 散歩	散歩をする際の注意点を説明できる。	
24 回	犬の飼育 運動	オモチャの選び方、管理の仕方を説明できる。	
25 回	犬の飼育 運動	ドッグランの利用方法を説明できる。	
26 回	犬の飼育 運動	安全にドッグランを使うポイントを説明できる。	
27 回	犬の飼育 災害の対策	災害の対策について、犬の避難グッズを答えることができる。	
28 回	犬の飼育 災害の対策	災害の対策について、飼い主がすべきことを答えることができる。	
29 回	学校動物の飼育	犬の飼育方法を理解し、学校犬の飼育を適切にできる。	
30 回	学校動物の飼育	犬の飼育方法を理解し、学校犬の飼育を適切にできる。	

## 授業計画表

ドッグトレーナー 科

MCL盛岡ペットワールド専門学校

<b>科目名</b> 動物飼養管理総論 I (飼育実習)	<b>教員名</b> 市村 香織	
<b>科目時間数</b> : 50 時間	<b>授業の種類</b> : 講義 ・ 演習 ・ 実習	
<b>必修・選択の別</b> : 必修・選択	<b>配当学年</b> : 1 <b>開講時期</b> : 前期・後期・集中	
<p><b>【授業の目的・ねらい】</b>                  学校動物の飼育の中から、飼い主の気持ちを知るとともに、適切な動物の飼育の仕方や適切な扱い方を身に付ける。                  他者とコミュニケーションを取りながら、作業を進めるために必要な能力を身に付ける。</p> <p><b>【ドッグトレーナー科ディプロマポリシーとの関連】</b>                  1. 犬や飼い主の要望に合わせたサポートができる                  ② 人と動物のより良い関係づくりのために活動ができる                  ③ 動物と人の気持ちを考え、コミュニケーションが取れる                  4. 社会で活躍と働くという心構えができています</p> <p><b>【授業全体の内容の概要】</b>                  学校犬、猫、小動物の飼育法について、上級学生から学びながら、同学年の学生同士で学校動物の飼育管理を行う。</p> <p><b>【授業における達成課題】</b>                  学校にいる動物について基本的な飼育ができる。</p>		
	使用教材	出版社
学生用	プリント等	
<p><b>【教員担当の実務経験の有無】</b> 有 ・ 無</p> <p><b>【内 容】</b></p>		
<p><b>【評価方法とその内容】</b>                  授業出席率80%以上。</p>		
<p><b>【必要な予習等の内容】</b>                  配布資料（プリント等）の復習をして、次回の授業に参加するように指示をして実行する。</p>		

科目名 動物飼養管理総論 I (飼育実習)		科目時間総数 50	時間	教員名 市村 香織
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標		
1	服装	動物を飼育する際の服装について、理解する。		
2	掃除	床の拭き方、ぞうきんの絞り方、ほうきの扱いかたを学ぶ。適切な消毒方法を理解する。		
3	イヌの飼育	イヌとの接し方を理解し、イヌとあいさつし、警戒されない方法を理解する。		
4	ネコの飼育	ネコとの接し方を理解し、ネコとあいさつし、警戒されない方法を理解しする。		
5	小動物の飼育	小動物との接し方を理解し、小動物とあいさつし、警戒されない方法を理解する。		
6	イヌの飼育	犬の飼育に必要となる道具を理解し、つかいこなせるようになる。		
7	イヌの飼育	犬の飼育に必要となる道具を理解し、つかいこなせるようになる。		
8	ネコの飼育	ネコの飼育に必要となる道具を理解し、つかいこなせるようになる。		
9	ネコの飼育	ネコの飼育に必要となる道具を理解し、つかいこなせるようになる。		
10	小動物の飼育	小動物の飼育に必要となる道具を理解し、つかいこなせるようになる。		
11	小動物の飼育	小動物の飼育に必要となる道具を理解し、つかいこなせるようになる。		
12	イヌの飼育	イヌの体の構造を理解し、実際の犬を観察し。体がどのように動くかを知る。		
13	ネコの飼育	ネコの体の構造を理解し、実際の犬を観察し。体がどのように動くかを知る。		
14	小動物の飼育	小動物の体の構造を理解し、実際の犬を観察し。体がどのように動くかを知る。		
15	イヌの飼育	イヌの体の構造を理解し、抱っこをする、保定する方法を身に付ける。		
16	イヌの飼育	イヌの体の構造を理解し、抱っこをする、保定する方法を身に付ける。		
17	ネコの飼育	ネコの体の構造を理解し、抱っこをする、保定する方法を身に付ける。		
18	ネコの飼育	ネコの体の構造を理解し、抱っこをする、保定する方法を身に付ける。		
19	小動物の飼育	小動物の体の構造を理解し、抱っこをする、保定する方法を身に付ける。		
20	小動物の飼育	小動物の体の構造を理解し、抱っこをする、保定する方法を身に付ける。		
21	イヌの飼育	イヌの食事について理解を深める。食事の与え方を学び、実際の犬の飼育に使用する		
22	イヌの飼育	イヌの運動について理解を深める。運動の仕方を学ぶ。		
23	イヌの飼育	イヌの運動について理解を深める。運動の仕方を学び、実際の犬の飼育に使用する。		
24	イヌの飼育	イヌの運動について理解を深める。おもちゃの扱い方を学ぶ。		
25	イヌの飼育	イヌの運動について理解を深める。おもちゃの扱い方を学び、実際の犬の飼育に使用する。		
26	イヌの飼育	イヌの休息について理解を深める。イヌがいる環境設定について学ぶ。		
27	イヌの飼育	イヌの休息について理解を深める。イヌがいる環境設定について学び、実際の犬の飼育に使用する。		
28	イヌの飼育	イヌとの関わり方について理解を深める。良い関係を築くために、どのような方法があるかを知る。		
29	イヌの飼育	イヌとの関わり方について理解を深める。良い関係を築くために、どのような方法があるかを知り、実際の犬の飼育に使用する。		
30	イヌの飼育	イヌの健康管理について理解を深める。異常と正常の違いを知る。		

時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標
31 回	イヌの飼育	イヌの健康管理について理解を深める。異常と正常の違いを知り、実際の犬の飼育に使用する。
32 回	イヌの飼育	イヌの健康管理について理解を深める。健康維持をするために、どのようなボディケアが必要かを理解する。
33 回	イヌの飼育	イヌの健康管理について理解を深める。健康維持をするために、どのようなボディケアが必要かを理解し、実際の犬の飼育に使用する。
34 回	ネコの飼育	ネコの食事について理解を深める。食事の与え方を学び、実際の猫の飼育に使用する。
35 回	ネコの飼育	ネコの運動について理解を深める。運動の仕方を学ぶ。
36 回	ネコの飼育	ネコの運動について理解を深める。運動の仕方を学び、実際の猫の飼育に使用する。
37 回	ネコの飼育	ネコの運動について理解を深める。おもちゃの扱い方を学ぶ。
38 回	ネコの飼育	ネコの運動について理解を深める。おもちゃの扱い方を学び、実際の猫の飼育に使用する。
39 回	ネコの飼育	ネコの休息について理解を深める。猫がいる環境設定について学ぶ。
40 回	ネコの飼育	ネコの休息について理解を深める。ネコがいる環境設定について学び、実際の猫の飼育に使用する。
41 回	ネコの飼育	ネコとの関わり方について理解を深める。良い関係を築くために、どのような方法があるかを知る。
42 回	ネコの飼育	ネコとの関わり方について理解を深める。良い関係を築くために、どのような方法があるかを知り、実際の猫の飼育に使用する。
43 回	ネコの飼育	ネコの健康管理について理解を深める。異常と正常の違いを知る。
44 回	ネコの飼育	ネコの健康管理について理解を深める。異常と正常の違いを知り、実際の猫の飼育に使用する。
45 回	ネコの飼育	ネコの健康管理について理解を深める。健康維持をするために、どのようなボディケアが必要かを理解する。
46 回	ネコの飼育	ネコの健康管理について理解を深める。健康維持をするために、どのようなボディケアが必要かを理解し、実際の猫の飼育に使用する。
47 回	小動物の飼育	小動物の食事について理解を深める。食事の与え方を学び、実際の飼育に使用する。
48 回	小動物の飼育	小動物の運動について理解を深める。運動の仕方を学ぶ。
49 回	小動物の飼育	小動物の運動について理解を深める。運動の仕方を学び、実際の飼育に使用する。
50 回	指導について	後輩に飼育の仕方を指導できるように、指導のポイントを理解する。

## 授業計画表

ドッグトレーナー

科

MCL盛岡ペットワールド専門学校

<b>科目名</b>	動物看護学Ⅰ (解剖生理学)	<b>教員名</b>	笹 美冬
<b>科目時間数：</b>	20	時間	<b>授業の種類：</b> <input checked="" type="checkbox"/> 講義 ・ <input type="checkbox"/> 演習 ・ <input type="checkbox"/> 実習
<b>必修・選択の別：</b>	<input checked="" type="checkbox"/> 必修 ・ <input type="checkbox"/> 選択	<b>配当学年</b>	1 <b>開講時期：</b> 前期 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 後期 ・ 集中
<p><b>〔授業の目的・ねらい〕</b>                  犬の体の構造、機能を理解し生体を扱う上での作業、管理を適切に行えるようになるのがねらい</p> <p><b>〔ドッグトレーナー科ディプロマポリシーとの関連〕</b>                  ① 犬や飼い主の要望に合わせたサポートができる                  ② 人と動物のより良い関係づくりのために活動ができる                  ③ 動物と人の気持ちを考え、コミュニケーションが取れる                  ④ 社会で活躍と働くという心構えができています</p> <p><b>〔授業全体の内容の概要〕</b> 耳について 耳の全体像の理解                  犬の体の仕組みと機能について（骨格、耳、眼、口腔、皮膚、消化器、生殖器、循環器など）</p> <p><b>〔授業における達成課題〕</b>                  筆記試験において正答が80%以上</p>			
	<b>使用教材</b>	<b>出版社</b>	
学生用	プリント等		
<p><b>【教員担当の実務経験の有無】</b> <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無</p> <p><b>【内容】</b>                  動物病院にて動物看護師として勤務経験がある</p> <p><b>【評価とその内容】</b>                  筆記試験において80%以上、授業出席率80%以上</p> <p><b>【必要な予習などの内容】</b>                  配布（プリント等）の復習をして、次回の授業に参加することを指示し実行する</p>			

科目名		科目時間総数	教員名
動物看護学Ⅰ（解剖生理学）		20	時間 笹 美冬
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標	
1	解剖学を学ぶ目的	学校内・IS先・就職先で犬を扱う際に動物を扱ううえで無理なくコントロールすることができるように骨格を理解する。また各種臓器や関わる疾患を理解することで、動物の正常と異常をいち早く発見することができるよう解剖学の重要性を理解する。	
2	解剖学を学ぶ目的		
3	骨について	犬の各骨の名称と役割を理解する。	
4	骨について	犬の各骨の名称と役割を理解する。	
5	骨の疾患	膝蓋骨脱臼・股関節形成不全・股関節脱臼・椎間板ヘルニア・環軸椎亜脱臼の疾患を理解する。	
6	消化器の役割	各消化器系の名称を知り、役割、異常と性状を理解する。	
7	消化器の異常について	軟便・下痢・嘔吐・吐出について理解する。	
8	皮膚と皮膚の疾患について	皮膚の機能と役割を知る。皮膚炎の進行・皮膚疾患について学び、扱いが難しいことを理解する。	
9	皮膚と皮膚の疾患について	皮膚の機能と役割を知る。皮膚炎の進行・皮膚疾患について学び、扱いが難しいことを理解する。	
10	解剖生理学復習	確認のテストの実施により理解を深める	
11	眼について	犬の眼の各部の名称と役割を理解する。	
12	眼疾患	角膜炎・角膜潰瘍・白内障・緑内障について理解する。	
13	眼疾患	角膜炎・角膜潰瘍・白内障・緑内障について理解する。	
14	耳について	犬の耳の各部名称と役割を理解する。	
15	耳疾患	外耳炎・中耳炎・耳血腫について理解する。	
16	口腔について	犬の歯の名称（歯数）、口腔内の各部名称（粘膜）と役割を理解する。	
17	口腔内疾患	歯周病・乳歯遺残・口腔内腫瘍・不正咬合・歯瘻・口鼻瘻管について理解する。	
18	心臓について	心臓の解剖を理解する。	
19	心疾患	心臓の解剖を理解し、犬に多い心疾患を理解する。	
20	解剖生理学復習	確認のテストの実施により理解を深める	



科目名		科目時間総数	時間	教員名
	グルーミング学Ⅰ (グルーミング実習Ⅰ)	100		佐藤 丈嗣
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標		
1	回 オリエンテーション	科目の概要 動議づけ		
2	回 グルーミング理論の 必要性	グルーミングとは何かを説明できる。		
3	回 犬体名称 骨格名称	グルーミングで使う犬体名称を答えることができる。 犬の骨格や関節を理解できている。		
4	回 グルーミング手順	グルーミングの全体の流れを理解している。		
5	回 グルーミング手順 道具の種類と使い方	犬体チェックの仕方と、必要な道具、チェックのポイントを説明できる。		
6	回 グルーミング手順 道具の種類と使い方	爪切り、クリッピングの仕方と使用する道具と使い方を説明できる。		
7	回 グルーミング手順 道具の種類と使い方	爪切り、クリッピングの仕方と使用する道具と使い方を説明できる。		
8	回 グルーミング手順 道具の種類と使い方	ブラッシング、コーミングの仕方と使用する道具と使い方を説明できる。		
9	回 グルーミング手順 道具の種類と使い方	ブラッシング、コーミングの仕方と使用する道具と使い方を説明できる。		
10	回 グルーミング手順 道具の種類と使い方	耳そうじ、眼軟膏、肛門腺絞りの仕方と使用する道具と使い方を説明できる。		
11	回 グルーミング手順 道具の種類と使い方	耳そうじ、眼軟膏、肛門腺絞りの仕方と使用する道具と使い方を説明できる。		
12	回 シャンプーリンスの種 類・仕方	各シャンプーの特徴、用法、用量を説明できる		
13	回 グルーミング手順 道具の種類と使い方	シャンプーリンスの仕方と使用する道具と使い方を説明できる。		
14	回 グルーミング手順 道具の種類と使い方	ドライの作業の仕方と使用する道具と使い方を説明できる。		
15	回 グルーミング手順 道具の種類と使い方	ハサミの持ち方、ひげきりと足回りのカットの仕方と使用する道具と 使い方を説明できる。		
16	回 グルーミング手順 道具の種類と使い方	ハサミの持ち方、ひげきりと足回りのカットの仕方と使用する道具と 使い方を説明できる。		
17	回 リボンの作り方 ・つけ方	小型犬用のリボンを1組（2個）実際に作れる		
18	回 リボンの作り方 ・つけ方	小型犬用のリボンを1組（2個）実際に作れる		
19	回 リボンの作り方 ・つけ方	マネキン犬に作ったリボンをつけることができる		
20	回 ブラシを使ってブラッ シング	ブラシの持ち方とブラシの動かし方を実際にできる		
21	回 ブラシを使ってブラッ シング	ブラシの持ち方とブラシの動かし方を実際にできる		
22	回 受付接客	事前準備の仕方と、受付の仕方を説明できる		
23	回 お返し接客	お返しの電話のかけ方とお返しの仕方を説明できる。		
24	回 カルテの書き方 領収書の書き方	カルテ書き、領収書書きを出来る。		
25	回 グルーミング手順の復 習	一通りの手順を説明できる。道具を正しい持ち方で持って動かせる。		
26	回 マネキンのブラッシン グ	マネキン犬のブラッシングを正しく行える。		
27	回 模擬手配表の読み取りとシ ミュレーションの仕方	手配表を読み取り、シミュレーションを行うためのカルテの準備がで きる。		
28	回 模擬受付	受付を、模擬で出来る。		
29	回 模擬お迎え電話	お返しの電話を、模擬で出来る。		
30	回 模擬お返し	犬のお返しを、模擬で出来る。		





時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標	
91 回	グルーミング実習	モデル犬でのグルーミングの一連の流れを行える	飼い主さんの対応あり
92 回	グルーミング実習	モデル犬でのグルーミングの一連の流れを行える	飼い主さんの対応あり
93 回	グルーミング実習	モデル犬でのグルーミングの一連の流れを行える	飼い主さんの対応あり
94 回	グルーミング実習	モデル犬でのグルーミングの一連の流れを行える	飼い主さんの対応あり
95 回	グルーミング実習	モデル犬でのグルーミングの一連の流れを行える	飼い主さんの対応あり
96 回	グルーミング実習	モデル犬でのグルーミングの一連の流れを行える	飼い主さんの対応あり
97 回	グルーミング実習	モデル犬でのグルーミングの一連の流れを行える	飼い主さんの対応あり
98 回	グルーミング実習	モデル犬でのグルーミングの一連の流れを行える	飼い主さんの対応あり
99 回	グルーミング実習	モデル犬でのグルーミングの一連の流れを行える	飼い主さんの対応あり
100 回	グルーミング実習	モデル犬でのグルーミングの一連の流れを行える	飼い主さんの対応あり

## 授業計画表

ドッグトレーナー

科

MCL盛岡ペットワールド専門学校

<b>科目名</b> グルーミング学 (犬種総論)	<b>教員名</b> 小松 里菜	
<b>科目時間数:</b> 30 時間	<b>授業の種類:</b> <input checked="" type="checkbox"/> 講義 ・ 演習 ・ 実習	
<b>必修・選択の別:</b> <input checked="" type="checkbox"/> 必修 ・ 選択	<b>担当学年:</b> 1 <b>開講時期:</b> <input checked="" type="checkbox"/> 前期 ・ 後期 ・ 集中	
<p><b>〔授業の目的・ねらい〕</b>          JKCにおける人気犬種を理解し、市場の傾向や犬種ごとの特性を理解し、犬の飼育方法・遺伝性疾患の有無、被毛の特徴など学科ごとの特性と学習につなげる</p> <p><b>〔ドッグトレーナー科ディプロマポリシーとの関連〕</b>  <input checked="" type="checkbox"/> 犬や飼い主の要望に合わせたサポートができる  <input checked="" type="checkbox"/> 人と動物のより良い関係づくりのために活動ができる          3. 動物と人の気持ちを考え、コミュニケーションが取れる          4. 社会で活躍と働くという心構えができている</p> <p><b>〔授業全体の内容の概要〕</b>          JKCにおける第一グループから第十グループまですべての犬種について触れ、その中で特に登録数の多い犬種について、体長、性質、グルーミングの有無等を解説していく</p> <p><b>〔授業における達成課題〕</b>          口頭により、人気犬種TOP10について、体長・性質・飼育方法等について解説できる          筆記試験で正答80%以上。</p>		
	使用教材	出版社
学生用	最新犬種図鑑	株式会社インターズー
<p><b>〔教員担当の実務経験の有無〕</b> <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無</p> <p><b>〔内 容〕</b>          ペットショップでトリマーとして勤務経験がある</p> <p><b>〔評価方法とその内容〕</b>          筆記試験での正答率が90%以上 授業出席率80%以上</p> <p><b>〔必要な予習等の内容〕</b>          次回の犬種グループにおいてページ数、体長等をプリントに書き留めておくことを指示し実行する</p>		

科目名 グルーミング学（犬種総論Ⅰ）		科目時間総数 30	時間	教員名 小松 里菜
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標		
1回	オリエンテーション	犬種を学ぶ意味とケネルクラブの意味を学び、血統書の意義を確認できる		
2回	血統書について	血統書の読み方や名義変更について理解し説明することができる		
3回	血統書について	血統書の読み方や名義変更について理解し説明することができる		
4回	人気犬種について	JKC登録頭数の多い犬種を理解し、登録数の多い理由について答えることができる		
5回	第一グループについて	グループの犬種について学び、その中の登録頭数の多い犬種について答えることができる		
6回	第一グループについて	グループの犬種について学び、その中の登録頭数の多い犬種について答えることができる		
7回	第一グループについて	グループの犬種について学び、その中の登録頭数の多い犬種について答えることができる		
8回	第二グループについて	グループの犬種について学び、その中の登録頭数の多い犬種について答えることができる		
9回	第二グループについて	グループの犬種について学び、その中の登録頭数の多い犬種について答えることができる		
10回	第二グループについて	グループの犬種について学び、その中の登録頭数の多い犬種について答えることができる		
11回	第三グループについて	グループの犬種について学び、その中の登録頭数の多い犬種について答えることができる		
12回	第三グループについて	グループの犬種について学び、その中の登録頭数の多い犬種について答えることができる		
13回	第三グループについて	グループの犬種について学び、その中の登録頭数の多い犬種について答えることができる		
14回	第四グループについて	グループの犬種について学び、その中の登録頭数の多い犬種について答えることができる		
15回	第五グループについて	グループの犬種について学び、その中の登録頭数の多い犬種について答えることができる		
16回	第五グループについて	グループの犬種について学び、その中の登録頭数の多い犬種について答えることができる		
17回	第六グループについて	グループの犬種について学び、その中の登録頭数の多い犬種について答えることができる		
18回	第六グループについて	グループの犬種について学び、その中の登録頭数の多い犬種について答えることができる		
19回	第七グループについて	グループの犬種について学び、その中の登録頭数の多い犬種について答えることができる		
20回	第七グループについて	グループの犬種について学び、その中の登録頭数の多い犬種について答えることができる		
21回	第八グループについて	グループの犬種について学び、その中の登録頭数の多い犬種について答えることができる		
22回	第八グループについて	グループの犬種について学び、その中の登録頭数の多い犬種について答えることができる		
23回	第九グループについて	グループの犬種について学び、その中の登録頭数の多い犬種について答えることができる		
24回	第九グループについて	グループの犬種について学び、その中の登録頭数の多い犬種について答えることができる		
25回	第九グループについて	グループの犬種について学び、その中の登録頭数の多い犬種について答えることができる		
26回	第十グループについて	グループの犬種について学び、その中の登録頭数の多い犬種について答えることができる		
27回	第十グループについて	グループの犬種について学び、その中の登録頭数の多い犬種について答えることができる		
28回	復習	JKC 1～10グループについて復習をする		
29回	犬の毛色について	犬の毛色について、基本的な色を学ぶ		
30回	犬の毛色について	犬の毛色について、犬種特有の毛色を学ぶ		

## 授業計画表

ドッグトレーナー

科

MCL盛岡ペットワールド専門学校

<b>科目名</b> グルーミング学 (猫種総論)	<b>教員名</b> 高坂 恵梨香	
<b>科目時間数:</b> 20                            時間	<b>授業の種類:</b> <input checked="" type="checkbox"/> 講義    ·    演習    ·    実習	
<b>必修・選択の別:</b> <input checked="" type="checkbox"/> 必修・選択	<b>配当学年</b> 1   <b>開講時期:</b> 前期・ <input checked="" type="checkbox"/> 後期・集中	
<p><b>【授業の目的・ねらい】</b>          ペットショップで販売されている猫の種類のお手入れについてを理解するのがねらい</p> <p><b>【ドッグトレーナー科ディプロマポリシーとの関連】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 犬や飼い主の要望に合わせたサポートができる</li> <li>② 人と動物のより良い関係づくりのために活動ができる</li> <li>③ 動物と人の気持ちを考え、コミュニケーションが取れる</li> <li>④ 社会で活躍と働くという心構えができている</li> </ol> <p><b>【授業全体の内容の概要】</b>          猫の種類とその特徴          猫のお手入れの仕方</p> <p><b>【授業における達成課題】</b>          筆記試験において正答が80%以上</p>		
	<b>使用教材</b>	<b>出版社</b>
学生用	猫の教科書	緑書房
<b>【教員担当の実務経験の有無】</b> <input checked="" type="checkbox"/> 有    ·    無		
<b>【内容】</b> 動物病院にて動物看護師として勤務経験がある		
<b>【評価とその内容】</b> 筆記試験において正答率80%以上    授業出席率80%以上		
<b>【必要な予習などの内容】</b> 次回に向けて、教科書に目を通し予習することを指示し実行する		

科目名 グルーミング学Ⅰ（猫種総論）		科目時間総数 20	時間	教員名 高坂 恵梨香
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標		
1 回	オリエンテーション	授業の目的、授業の目標について説明する。		
2 回	メイン・クーン・キャット	発祥年代・原産国・祖先・体重・体型・毛質・毛色・目色・特徴を理解する。		
3 回	アメリカン・ショートヘア	発祥年代・原産国・祖先・体重・体型・毛質・毛色・目色・特徴を理解する。		
4 回	タビーパターンについて	タビーパターンを理解し、タビーの判別ができるようになる。		
5 回	スコティッシュ・フォールド	発祥年代・原産国・祖先・体重・体型・毛質・毛色・目色・特徴を理解する。		
6 回	ノルウェージャン・フォレスト・キャット	発祥年代・原産国・祖先・体重・体型・毛質・毛色・目色・特徴を理解する。		
7 回	ラグドール	発祥年代・原産国・祖先・体重・体型・毛質・毛色・目色・特徴を理解する。		
8 回	アメリカン・カール	発祥年代・原産国・祖先・体重・体型・毛質・毛色・目色・特徴を理解する。		
9 回	アビシニアン	発祥年代・原産国・祖先・体重・体型・毛質・毛色・目色・特徴を理解する。		
10 回	ロシアン・ブルー	発祥年代・原産国・祖先・体重・体型・毛質・毛色・目色・特徴を理解する。		
11 回	猫種総論まとめ	筆記試験により理解を深める。		
12 回	ベンガル	発祥年代・原産国・祖先・体重・体型・毛質・毛色・目色・特徴を理解する。		
13 回	エキゾチック	発祥年代・原産国・祖先・体重・体型・毛質・毛色・目色・特徴を理解する。		
14 回	マンクス	発祥年代・原産国・祖先・体重・体型・毛質・毛色・目色・特徴を理解する。		
15 回	猫の感覚器・五感・飼育に必要なもの	猫の感覚器や五感、飼育に関わるものが犬とどのように違うのかを理解する。		
16 回	猫の感覚器・五感・飼育に必要なもの	猫の感覚器や五感、飼育に関わるものが犬とどのように違うのかを理解する。		
17 回	猫の感覚器・五感・飼育に必要なもの	猫の感覚器や五感、飼育に関わるものが犬とどのように違うのかを理解する。		
18 回	シンガプーラ	発祥年代・原産国・祖先・体重・体型・毛質・毛色・目色・特徴を理解する。		
19 回	ブリティッシュ・ショートヘア	発祥年代・原産国・祖先・体重・体型・毛質・毛色・目色・特徴を理解する。		
20 回	猫種総論まとめ	筆記試験により理解を深める。		

## 授業計画表

ドッグトレーナー 科

MCL盛岡ペットワールド専門学校

<b>科目名</b>	しつけトレーニング学 I (インストラクショ ン)	<b>教員名</b>	三上 祐太
<b>科目時間数</b> :	30	時間	<b>授業の種類</b> : <input type="checkbox"/> 講義 ・ 演習 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 実習
<b>必修・選択 の別</b> :	<input checked="" type="checkbox"/> 必修・選択	<b>配当学年</b> :	1   <b>開講時期</b> : 前期・ <input checked="" type="checkbox"/> 後期・集中
<p><b>【授業の目的・ねらい】</b>                  人にわかりやすく伝える能力を身につけるのがねらい。                  プライベートレッスンのインストラクション、グループレッソンのアシスタントができるようになる。</p> <p><b>【ドッグトレーナー科ディプロマポリシーとの関連】</b>  <input checked="" type="checkbox"/> 犬や飼い主の要望に合わせたサポートができる  <input checked="" type="checkbox"/> 人と動物のより良い関係づくりのために活動ができる                  3. 動物と人の気持ちを考え、コミュニケーションが取れる                  4. 社会で活躍と働くという心構えができています</p> <p><b>【授業全体の内容の概要】</b>                  人にわかりやすく伝えるためのEDICT                  プライベートレッスンを運営する                  グループレッソンのアシスタントをする</p> <p><b>【授業における達成課題】</b>                  9割以上出席する。                  学年末試験60割の正答率                  学校認定ドッグトレーナーライセンスII合格</p>			
	使用教材	出版社	
<p><b>【教員担当の実務経験の有無】</b>    有                      ・                      <input checked="" type="checkbox"/> 無</p> <p><b>【内 容】</b></p>			
<p><b>【評価方法とその内容】</b>                  授業出席率90%以上。                  試験および資格の結果</p>			
<p><b>【必要な予習等の内容】</b>                  毎回の授業の最後に、次回の授業内容についてプリントを活用して予習を指示する。</p>			

科目名 つけトレーニング学Ⅰ(インストラ		科目時間総数 30	時間	教員名 三上 祐太
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標		
1	インストラクションとは	インストラクションの意味とは		
2	インストラクションとは	人にわかりやすく伝えるための基本	聴覚	
3	インストラクションとは	自分の声の特徴を知る		
4	インストラクションとは	人にわかりやすく伝えるための基本	視覚	
5	インストラクションとは	説明内容の考え方		
6	インストラクションとは	説明内容の考え方	時間の調節	
7	インストラクションとは	E D I C T Eについて		
8	インストラクションとは	E D I C T Dについて		
9	インストラクションとは	E D I C T Iについて		
10	インストラクションとは	E D I C T Cについて		
11	インストラクションとは	E D I C T Tについて		
12	実践練習	リードの持ち方の説明		
13	実践練習	リードの持ち方の説明		
14	実践練習	犬とのあいさつの仕方について		
15	実践練習	犬とのあいさつの仕方について		
16	実践練習	自分の好きなことを相手に伝える練習		
17	実践練習	自分の好きなことを相手に伝える練習		
18	実践練習	修正の仕方について		
19	レッスンについて	プライベートレッスンとグループレッソンの違い		
20	レッスンについて	安全にレッスンを行う	概要	
21	レッスンについて	安全にレッスンを行う	環境管理	
22	レッスンについて	安全にレッスンを行う	環境管理	
23	レッスンについて	安全にレッスンを行う	人の行動管理	
24	レッスンについて	安全にレッスンを行う	人の行動管理	
25	レッスンについて	安全にレッスンを行う	犬の行動管理	
26	レッスンについて	安全にレッスンを行う	犬の行動管理	
27	レッスンについて	安全にレッスンを行う	犬の行動管理	
28	レッスンについて	レッスン内容の組み立て		
29	レッスンについて	レッスン内容の実践		
30	まとめ	振り返り		



科目名 しつけトレーニング学I (しつけトレーニング実習I)		科目時間総数 180	時間	教員名 伊勢 仁英
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標		
1 回	行動管理	犬の目線になり、犬と友達になる。犬と仲良くなれる方法を実践できる。		
2 回	行動管理	犬の観察の仕方 観察のポイントを説明できる		
3 回	行動管理	犬の観察の仕方 観察のポイントを説明できる		
4 回	行動管理	犬への挨拶の仕方 近づく時の注意点を理解し実践できる		
5 回	行動管理	犬の視覚について 犬の視野、視力、色の認識について説明できる。		
6 回	行動管理	犬の聴覚について 犬が聞き取りやすい音、高い音と低い音の効果を説明できる。		
7 回	行動管理	リードワーク 3種類のリードの持ち方ができる		
8 回	行動管理	リードワーク 適切にコントロールできる		
9 回	行動管理	リードワーク 適切にコントロールできる		
10 回	行動管理	カラーについて 3種類のカラーを説明できる		
11 回	行動管理	ハーネスについて 2種類のハーネスを説明できる		
12 回	行動管理	犬の嗅覚について 犬の嗅覚は、人の何倍良いか、探知しやすいにおいを説明できる。		
13 回	行動管理	報酬について 犬の報酬とは何か理解する		
14 回	行動管理	フードの安全な与え方 適切なフードのサイズを理解する。		
15 回	行動管理	クレートケージの組み立て方 3種のクレートを組み立てることができる		
16 回	行動管理	グルーミングテーブルの組み立て グルーミング台を適切に組み立て、片付けることができる。		
17 回	行動管理	カラーのつけ外し 安全にカラーの着脱ができる		
18 回	行動管理	犬が入るイベントを運営する注意点について理解する		
19 回	行動管理	犬が入るイベントを運営する注意点を3つ説明できる。		
20 回	行動管理	抱っこの仕方 横抱っこをマネキン犬を使って実践できる		
21 回	行動管理	抱っこの仕方 前抱っこをマネキン犬を使って実践できる		
22 回	行動管理	抱っこの仕方 2種類の抱っこをマネキン犬を使って実践できる		
23 回	行動管理	抱っこの仕方 2種類の抱っこをマネキン犬を使って実践できる		
24 回	行動管理	台の上での犬の扱い 身体的誘導法を使ったオスワリの方法を理解する		
25 回	行動管理	台の上での犬の扱い 身体的誘導法を使ったオスワリの方法を実践できる		
26 回	行動管理	台の上での犬の扱い 犬の保定ができる		
27 回	行動管理	台の上での犬の扱い 犬の保定ができる		
28 回	行動管理	台の上での犬の扱い 犬の保定ができる		
29 回	行動管理	誘導法 犬をコントロールする誘導法を理解する		
30 回	行動管理	誘導法 犬をコントロールする誘導法を実践できる		

時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標
31 回	行動管理	誘導法 犬をコントロールする誘導法を実践できる
32 回	行動管理	犬が入るイベントを運営する注意点を考えて実践できる
33 回	行動管理	犬が入るイベントを運営する注意点を考えて実践できる
34 回	行動管理	犬を安全にコントロールの仕方を理解する
35 回	行動管理	犬を安全にコントロールの仕方を理解する
36 回	行動管理	5つの自由を説明できる 犬の触り方のポイントを説明できる
37 回	行動管理	犬の触り方の復習をし、正しく行うことができる
38 回	行動管理	クレートから犬を安全に出入りさせる方法を実践できる
39 回	行動管理	首まわりをつかむ練習 触ることができる
40 回	行動形成	誘導法の仕方 誘導法を実践できる
41 回	行動形成	誘導法を使って オスワリ フセ タテ を引き出す方法を理解する
42 回	行動形成	誘導法を使って オスワリ フセ タテ を引き出す方法を実践できる
43 回	行動形成	誘導法を使って オスワリ フセ タテ を引き出す方法を実践できる
44 回	行動形成	誘導法を使って オスワリ フセ タテ を引き出す方法を実践できる。別の犬にも出来る
45 回	行動形成	誘導法からオスワリの合図のつけ方を理解する
46 回	行動形成	誘導法からオスワリの合図のつけ方を実践する
47 回	行動形成	オスワリのハンドシグナルの教え方を理解する
48 回	行動形成	オスワリのハンドシグナルの教え方を実践する
49 回	行動形成	フセのハンドシグナルの教え方を理解する
50 回	行動形成	フセのハンドシグナルの教え方を実践する
51 回	行動形成	合図のつけ方の復習をし、正しく行うことができる
52 回	行動形成	ハンドシグナルの復習をし、正しく行うことができる
53 回	行動形成	ハンドシグナルの復習をし、正しく行うことができる
54 回	行動形成	コングを使い、犬に利用できるようになる
55 回	行動形成	ハンドシグナルでのオスワリとフセの復習をし、正しく行うことができる
56 回	行動形成	新しい合図のつけ方（声符）を理解する
57 回	行動形成	新しい合図のつけ方（声符）を実践できる
58 回	行動形成	声の合図のつけ方の復習をし、正しく行うことができる
59 回	行動形成	行動を教えているときの行動修正の仕方を理解する
60 回	行動形成	イルカゲームのルールを理解する

時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標
61 回	行動形成	イルカゲームを実践する ほめるタイミングを理解する
62 回	行動形成	イルカゲームを実践する 行動を形成する方法を実践する
63 回	行動形成	クリッカートレーニングとはどんな道具か理解する
64 回	行動形成	クリッカートレーニングの使い方を実践する
65 回	行動形成	クリッカートレーニングの使い方を実践する
66 回	行動形成	クリッカートレーニングの使い方を実践する
67 回	行動形成	クリッカートレーニングの使い方を実践する
68 回	行動形成	盲導犬ゲームのルールを理解する 盲導犬やユーザーの気持ちを体験する
69 回	行動形成	盲導犬ゲームを実践する 盲導犬やユーザーの気持ちを体験する
70 回	行動形成	クリッカートレーニング バスタオルターゲット 行動を分解することが理解できる
71 回	行動形成	クリッカートレーニング バスタオルターゲット 行動を分解することを実践できる
72 回	行動形成	クリッカートレーニング バスタオルターゲット 行動を分解することを実践できる
73 回	行動形成	クリッカートレーニング シェーピングとは何か説明できる
74 回	行動形成	クリッカートレーニング シェーピングを使って、犬の行動を引き出せる
75 回	行動形成	クリッカートレーニング シェーピングを使って、犬の行動を引き出せる
76 回	行動形成	リードの持ち方の復習 リードを適切に扱うことができる
77 回	行動形成	リードの扱い方 安全に素早くリードをコントロールできる
78 回	行動形成	リードの扱い方 安全に素早くリードをコントロールできる
79 回	行動形成	クレートの出入りの復習 安全に犬をクレートから出入りさせることができる
80 回	行動形成	誘導法でのオイデの教え方を理解する
81 回	行動形成	誘導法でのオイデの教え方を理解する
82 回	行動形成	誘導の手についてくる練習 犬を誘導についてこさせることができる
83 回	行動形成	呼び戻しの復習 の教え方を理解する
84 回	行動形成	リードの持ち方 抱っこの仕方の復習 犬の抱っこを適切に実践できる
85 回	行動形成	ハズバンダリートレーニングとは何か理解する
86 回	行動形成	ハズバンダリートレーニングを実践する
87 回	行動形成	ハズバンダリートレーニングの復習 ハズバンダリートレーニングとは何か説明できる
88 回	行動形成	ハズバンダリートレーニングの復習 ハズバンダリートレーニングを実践できる
89 回	行動形成	呼び戻しの練習 犬を呼び戻すことができる
90 回	行動形成	呼び戻しからカラーをつかむ リリースコマンドとは何か理解する

時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標
91 回	行動形成	オスワリ マテ の練習 リリースコマンドを適切に伝えることができる
92 回	行動形成	オスワリ マテ の時間を伸ばす方法 時間を伸ばす方法を実践できる
93 回	行動形成	オスワリ マテ の距離を伸ばす練習 距離を伸ばす方法を理解できる
94 回	行動形成	オスワリ マテ の距離を伸ばす練習 距離を伸ばす方法を実践できる
95 回	行動形成	呼び戻しの復習 適切に犬を呼び戻すことができる
96 回	行動形成	呼び戻しの復習 適切に犬を呼び戻すことができる
97 回	行動形成	オスワリ マテの復習 適切にオスワリマテができる
98 回	行動形成	オスワリ マテの復習 適切にオスワリマテができる
99 回	行動形成	素材の違った足場に慣らす練習 足場に慣らす方法を理解する
100 回	行動形成	4つのDとは？ 行動を安定させる4つのDを理解する
101 回	行動形成	4つのDとは？ 行動を安定させる4つのDを実践できる
102 回	行動形成	4つのDの復習 4つのDとは何か説明ができる
103 回	行動形成	4つのDの復習 4つのDをトレーニングで実践できる
104 回	行動形成	4つのDの復習 4つのDをトレーニングで実践できる
105 回	行動形成	古典的条件付けとは何か理解する
106 回	行動形成	古典的条件付けで学習していることを2つの例が出せる
107 回	行動形成	古典的条件付けの学習について説明できる
108 回	行動形成	プレマックの原理とは何か理解する
109 回	行動形成	プレマックの原理を説明できる
110 回	行動形成	扉の出入り プレマックの原理を利用して実践できる
111 回	行動形成	古典的条件付けの復習 古典的条件付けを説明できる
112 回	行動形成	古典的条件付けの復習 古典的条件付けの例を1つ説明できる
113 回	行動形成	プレマックの原理の復習 プレマックの原理を説明できる
114 回	行動形成	プレマックの原理の復習 プレマックの原理を使って、犬の行動を引き出すことができる
115 回	行動形成	適切なフードの与え方を実践できる。 犬にオフの教え方（フードから離れる）を実践できる
116 回	行動形成	クリッカートレーニングについて スモールステップの仕方を理解できる
117 回	行動形成	クリッカートレーニングについて アテンション オスワリ マテ の教え方 を実践できる
118 回	行動形成	クリッカートレーニングについて アテンション オスワリ マテ の教え方 を実践できる
119 回	行動形成	キャッチングとはどんな方法か理解する
120 回	行動形成	キャッチングを使って、フセ、マテを教えることができる

時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標
121 回	行動形成	キャッチングを使って、フセ、マテを教えることができる
122 回	行動形成	学習のABC（三項随伴性）を理解できる
123 回	行動形成	スモールステップが出来るようになる 犬の行動から結果（学習していること）を読み取ることを理解する。
124 回	行動形成	スモールステップが出来るようになる 犬の行動から結果（学習していること）を読み取ることを実践できる
125 回	行動形成	スモールステップが出来るようになる 犬の行動から結果（学習していること）を読み取ることを実践できる
126 回	行動形成	キャッチングの復習 キャッチングの方法を説明できる
127 回	行動形成	キャッチングの復習 キャッチングを使い、行動を形成できる
128 回	行動形成	キャッチングの復習 キャッチングを使い、行動を形成できる
129 回	行動形成	シェーピングの復習 シェーピングの方法を説明できる
130 回	行動形成	シェーピングの復習 シェーピングを使い、行動を形成できる
131 回	行動形成	シェーピングの復習 シェーピングを使い、行動を形成できる
132 回	行動形成	適切な散歩の仕方を理解する
133 回	行動形成	適切なお散歩の仕方を実践できる
134 回	行動形成	適切な散歩の仕方を実践できる
135 回	行動形成	犬が参加するイベントを考えることができる
136 回	行動形成	犬への配慮する方法を理解できる
137 回	行動形成	クリッカーを使って オスワリ マテ を引き出すことができる
138 回	行動形成	クリッカーを使って オスワリ マテ を引き出すことができる
139 回	行動形成	オペラント行動、行動随伴性、弱化、強化、強化子、弱化子を説明できる
140 回	行動形成	オペラント行動、行動随伴性、弱化、強化、強化子、弱化子を説明できる
141 回	行動形成	お散歩の復習 安全に散歩をする方法を説明できる
142 回	行動形成	お散歩の復習 安全に散歩をする方法を説明できる
143 回	行動形成	オペラント行動、行動随伴性、弱化、強化、強化子、弱化子の復習をし、説明できる
144 回	行動形成	オペラント行動、行動随伴性、弱化、強化、強化子、弱化子の復習をし、説明できる
145 回	行動形成	オペラント行動、行動随伴性、弱化、強化、強化子、弱化子の復習
146 回	行動形成	オペラント行動、行動随伴性、弱化、強化、強化子、弱化子の復習をし、説明できる
147 回	行動形成	クリッカーを使って、オスワリ マテを引き出すことができる
148 回	行動形成	クリッカーを使って、オスワリ、マテを引き出すことができる
149 回	行動形成	イベントの振り返り 反省をする
150 回	行動形成	次のイベントへ向けての反省をまとめる

時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標
151 回	行動形成	ターゲットトレーニング 条件付けのしかたを理解する
152 回	行動形成	ターゲットトレーニング 条件付けのしかたを実践する
153 回	行動形成	環境エンリッチメントとは何か説明できる
154 回	行動形成	環境エンリッチメントの復習 環境エンリッチメントを説明できる
155 回	行動形成	環境エンリッチメントの復習 周囲にいる動物の環境を見直すことができる
156 回	行動形成	正しいお散歩ができる
157 回	行動形成	正しいお散歩ができる
158 回	行動形成	クリッカーを使って、ハンドターゲットの教え方を理解する
159 回	行動形成	クリッカーを使って、ハンドターゲットの教え方を実践する
160 回	行動形成	ハンドターゲットを使って、犬を遠隔操作する方法を理解する
161 回	行動形成	ハンドターゲットを使って、犬を遠隔操作する方法を実践する
162 回	行動形成	クリッカーを使って コーンをターゲットを教える方法を理解する
163 回	行動形成	クリッカーを使って コーンをターゲットを教える方法を実践する
164 回	行動形成	クリッカーを使って コーンをターゲットを教える方法を実践する
165 回	行動形成	アテンションをクリッカーで強化する方法を理解する
166 回	行動形成	アテンションをクリッカーで強化する方法を実践できる
167 回	行動形成	自発的なアテンションを強化する方法を理解する
168 回	行動形成	自発的なアテンションを強化する方法を実践できる
169 回	行動形成	適切に誘導法を使用することができる
170 回	行動形成	適切にグルーミング台の上で犬を保定できる
171 回	行動形成	適切にグルーミング台の上で犬を保定できる
172 回	行動形成	正の強化と負の強化を説明できる
173 回	行動形成	正の弱化と負の弱化を説明できる
174 回	行動形成	初めて会う小型犬の扱い方について理解する
175 回	行動形成	初めて会う小型犬の扱い方について実践する
176 回	行動形成	初めて会う小型犬の扱い方について実践する
177 回	行動形成	初めて会う中型犬の扱い方について実践する
178 回	行動形成	初めて会う中型犬の扱い方について実践する
179 回	行動形成	初めて会う大型犬の扱い方について実践する
180 回	まとめ	今までの復習



科目名 しつけトレーニング学Ⅰ（関係学・行動学）		科目時間総数 30 時間	教員名 三上 祐太
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標	
1 回	犬と人の関係	イヌの起源を知る イヌの祖先、イヌを家畜化した時期と理由を答えることができる	
2 回	犬と人の関係	日本において人と犬の歴史を学ぶ	
3 回	犬と人の関係	日本において人と犬の歴史を学ぶ	
4 回	犬と人の関係	日本において人と犬の歴史を学ぶ	
5 回	犬と人の関係	世界においての人と犬の歴史を学ぶ	
6 回	犬と人の関係	世界においての人と犬の歴史を学ぶ	
7 回	使役動物	使役動物とは何か 補助犬の役割を答えることができる	
8 回	動物の効果	動物が人に与える3つの効果を学ぶ	
9 回	動物の効果	A I A H A I O、AAA、AAE、AATとは何か、その目的を答えることができる	
10 回	動物の効果	現代社会の問題とHABについて学ぶ	
11 回	犬の生態	犬の行動の種類を2種答えることができ、犬の本能を3つに分類できる	
12 回	犬の生態	犬の性格を形成する要因2つと社会化について答えることができる	
13 回	犬の生態	犬の脳の働きについて理解する。	
14 回	犬の言葉	犬のボディランゲージ、言葉について理解する	
15 回	犬の言葉	犬のパーソナルスペース、境界線、対立行動を4つ説明できる	
16 回	犬の言葉	犬のストレスの発散方法と、3つのFを答えることができる	
17 回	学習理論	古典的条件付けを説明できる。	
18 回	学習理論	高次条件付けを説明することができる	
19 回	学習理論	オペラント条件付け 4つの種類を説明することができる	
20 回	学習理論	行動の強化の仕方を説明できる 強化子とは何か説明できる	
21 回	学習理論	行動の消去の仕方を説明できる 弱化子とは何か説明できる	
22 回	学習理論	消去バースト、自然的回復を説明できる	
23 回	トレーニング理論	トレーニングの環境設定、行動管理ができる	
24 回	トレーニング理論	行動の引き出し方5つを説明できる	
25 回	トレーニング理論	行動の強化スケジュールを説明できる	
26 回	トレーニング理論	行動のレベルアップとダウン レベルアップの基準を説明できる 4つのDの使い方を説明できる。	
27 回	トレーニング理論	合図のつけ方 正しく合図をつける方法を説明できる	
28 回	トレーニング理論	般化と弁別 般化弁別とは何か 行動を般化、弁別する方法を説明できる	
29 回	トレーニング理論	報酬を抜く 報酬の抜き方を説明できる	
30 回	トレーニング理論	トレーニングプランの立て方を考えることができる	



科目名 しつけトレーニング学Ⅰ（行動学Ⅰ）		科目時間総数 60 時間	教員名 佐藤 丈嗣
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標	
1 回	行動管理	水平思考 物事を多角的に見る意識を持つことができる	
2 回	行動管理	犬への挨拶の仕方、近づく時の注意点が分かる	
3 回	行動管理	リードワークの復習 3種のリードの持ち方が実践できる	
4 回	行動管理	犬とのあいさつの仕方 犬のパーソナルスペースを理解する	
5 回	行動管理	フードの安全な与え方 適切なフードのサイズを理解する。	
6 回	行動管理	フードデリバリーの仕方 安全なフードの与え方を実践できる	
7 回	行動管理	クレートケージの組み立て方 3種のクレートを組み立てることができる	
8 回	行動管理	グルーミングテーブルの組み立て グルーミング台を適切に組み立て、片付けることができる。	
9 回	行動管理	子犬の観察の仕方 犬のカーミングシグナルとは何かを理解する	
10 回	行動管理	カラーのつけ外し 安全にカラーの着脱ができる	
11 回	行動管理	犬が入るイベントを運営する注意点について理解する	
12 回	行動管理	抱っこの仕方 横抱っこをマネキン犬を使って実践できる	
13 回	行動管理	抱っこの仕方 2種類の抱っこをマネキン犬を使って実践できる	
14 回	行動管理	台の上での犬の扱い 身体的誘導法を使ったオスワリの方法を理解する	
15 回	行動管理	台の上での犬の扱い 犬の前肢を見る保定ができる	
16 回	行動管理	誘導法 犬をコントロールする誘導法を理解する	
17 回	行動管理	台の上での犬の扱い 犬の四肢を見ることができる	
18 回	行動管理	犬が入るイベントを運営する注意点を考えて実践できる	
19 回	行動管理	犬が入るイベントを運営する注意点を考えて実践できる	
20 回	行動管理	犬を安全にコントロールの仕方を理解する	
21 回	行動管理	犬の触り方の復習をし、正しい扱い方ができる	
22 回	行動管理	クレートから犬を安全に出入りさせる方法を実践できる	
23 回	行動管理	犬の安全な触り方を実践できる	
24 回	行動管理	首まわりをつかむ練習 触ることができる	
25 回	行動形成	誘導法の仕方 誘導法を実践できる	
26 回	行動形成	誘導法を使って オスワリ フセ タテ を引き出す方法を理解する	
27 回	行動形成	誘導法からオスワリの合図のつけ方を理解する	
28 回	行動形成	オスワリのハンドシグナルの教え方を実践する	
29 回	行動形成	フセのハンドシグナルの教え方を実践する	
30 回	行動形成	合図のつけ方の復習をし、正しく行うことができる	

時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標
31 回	行動形成	ハンドシグナルの復習をし、正しく行うことができる
32 回	行動形成	ハンドシグナルでのオスワリとフセの復習し、正しく行うことができる
33 回	行動形成	声の合図のつけ方の復習をし、正しく行うことができる
34 回	行動形成	行動を教えているときの行動修正の仕方を理解する
35 回	行動形成	リードの扱い方 安全に素早くリードをコントロールできる
36 回	行動形成	リードの扱い方 安全に素早くリードをコントロールできる
37 回	行動形成	クレートの出入りの復習 安全に犬をクレートから出入りさせることができる
38 回	行動形成	誘導法でのオイデの教え方を実践できる
39 回	行動形成	呼び戻しの合図のつけ方 を説明できる
40 回	行動形成	クレートの出入りの復習 安全にイヌをクレートへ出し入れできる
41 回	行動形成	リードの持ち方 抱っこの仕方の復習 犬の抱っこを適切に実践できる
42 回	行動形成	呼び戻しからカラーをつかむ 適切に犬を呼び戻し、カラーをつかむことができる。
43 回	行動形成	オスワリ マテ の時間を伸ばす方法 時間を伸ばす方法を実践できる
44 回	行動形成	呼び戻しの復習 適切に犬を呼び戻すことができる
45 回	行動形成	オスワリ マテの復習 適切にオスワリマテができる
46 回	行動形成	素材の違った足場に慣らす練習 足場に慣らす方法を理解する
47 回	行動形成	4つのDとは? 行動を安定させる4つのDを理解する
48 回	行動形成	4つのDの復習 4つのDをトレーニングで実践できる
49 回	行動形成	古典的条件付けの復習 古典的条件付けを説明できる
50 回	行動形成	プレマックの原理の復習 プレマックの原理を説明できる
51 回	行動形成	キャッチングの復習 キャッチングを使い、行動を形成できる
52 回	行動形成	シェーピングの復習 シェーピングを使い、行動を形成できる
53 回	行動形成	犬が参加するイベントを考えることができる
54 回	行動形成	犬への配慮する方法を理解できる
55 回	行動形成	オペラント行動、行動随伴性、弱化、強化、強化子、弱化子の復習をし、理解する
56 回	行動形成	自発的なアテンションを強化する方法を理解する
57 回	行動形成	適切にグルーミング台の上で犬を保定できる
58 回	行動形成	適切にグルーミング台の上で犬を保定できる
59 回	行動形成	犬の扱いの復習 犬の体を身体的誘導法を使ってコントロールできる
60 回	行動形成	犬の扱いの復習 犬の体を身体的誘導法を使ってコントロールできる



科目名 ペットビジネス教養 I (就職実務)		科目時間総数 30	時間	教員名 市村 香織
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標		
1	スタンダードプログラム	基本的なマナーや第一印象が大切にされる理由を学ぶ		
2	スタンダードプログラム	基本的なマナーや第一印象が大切にされる理由を学ぶ		
3	スタンダードプログラム	ディスカッションの流れおよびアイデア出しについて学ぶ		
4	スタンダードプログラム	ディスカッションの流れおよびアイデア出しについて学ぶ		
5	スタンダードプログラム	学ぶ理由や目的を学ぶ		
6	スタンダードプログラム	学ぶ理由や目的を学ぶ		
7	スタンダードプログラム	人との関わりについて、自己理解と他者理解について学ぶ		
8	スタンダードプログラム	人との関わりについて、自己理解と他者理解について学ぶ		
9	スタンダードプログラム	動物系イベントを成功させるポイントを学ぶ		
10	スタンダードプログラム	動物系イベントを成功させるポイントを学ぶ		
11	スタンダードプログラム	経済活動と倫理について学ぶ		
12	スタンダードプログラム	経済活動と倫理について学ぶ		
13	スタンダードプログラム	プロの意識について学ぶ		
14	スタンダードプログラム	プロの意識について学ぶ		
15	スタンダードプログラム	長期的かつグローバルな視点で「理想の社会」や「自身の会社との関わり方」について学ぶ		
16	スタンダードプログラム	長期的かつグローバルな視点で「理想の社会」や「自身の会社との関わり方」について学ぶ		
17	スタンダードプログラム	専門学校卒業を迎えるときの自分自身の姿を描き、目標宣言をする		
18	スタンダードプログラム	専門学校卒業を迎えるときの自分自身の姿を描き、目標宣言をする		
19	基礎学力	読み、書き、計算、考える力を養う		
20	基礎学力	読み、書き、計算、考える力を養う		
21	基礎学力	読み、書き、計算、考える力を養う		
22	基礎学力	読み、書き、計算、考える力を養う		
23	基礎学力	読み、書き、計算、考える力を養う		
24	基礎学力	読み、書き、計算、考える力を養う		
25	基礎学力	読み、書き、計算、考える力を養う		
26	基礎学力	読み、書き、計算、考える力を養う		
27	基礎学力	読み、書き、計算、考える力を養う		
28	基礎学力	読み、書き、計算、考える力を養う		
29	今までの復習	今までの学校生活を振り返る		
30	目標決め	来年度の計画を立てる		



科目名		科目時間総数	教員名
ペットビジネス教養Ⅰ（社会人教養Ⅰ）		30	岩泉 美和子
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標	
1	オリエンテーション	ビジネスマナーを学ぶ目的を理解する。	
2	オリエンテーション	目標設定をする。相互理解とは何か理解する。	
3	仕事に取り組む姿勢	学校生活と社会人の生活の違いを知る。社会人として求められる資質を理解する。	
4	仕事に取り組む姿勢	社会人にふさわしい身だしなみを理解する。指示の受け方、報告、相談の仕方を理解する。	
5	職場の人間関係	社内・社外の人間関係について理解する	
6	職場の人間関係	人間関係づくりの基本 アサーションについて理解する	
7	基本動作	コミュニケーションの心構えを理解する。姿勢、お辞儀、立ち座り、表情の注意点を理解する。	
8	基本動作	話し方の基本を理解し、言葉選びのマナーを学ぶ。 聴き方の基本を理解する。	
9	言葉遣い	敬語の基本を理解する	
10	言葉遣い	間違えやすい敬語を覚え、正しい言葉遣いができるようになる。アルバイト言葉を理解する。	
11	来客対応	接遇の意義と重要、接遇の心構えを理解する。	
12	来客対応	お客様の受付について基本用語を理解する。	
13	来客対応	分かりやすい方向の指し方を理解する。	
14	来客対応	案内の要領、席次、見送りの仕方を理解する。	
15	電話対応	電話対応の注意点を理解する。電話の受け方の基本と用語を理解する。	
16	電話対応	様々な電話の対応の仕方を理解する。電話のかけ方を理解する。	
17	モデル犬の対応	お迎え～お返しまでの流れを把握する	
18	モデル犬の対応	お客様対応時の重要ポイントを確認し、理解する。	
19	訪問マナー	事業所への訪問前の準備について理解する。	
20	訪問マナー	訪問当日のマナーについて理解する。	
21	訪問マナー	名刺交換の仕方、自己紹介、離席時のマナーを理解する。	
22	ビジネス文書	ビジネス文書とは何か理解する。	
23	ビジネス文書	ビジネス文書の書き方を理解する。	
24	ビジネス文書	社内文書の基本、社外文書の基本を学ぶ。	
25	ビジネス文書	手紙、はがきについてのマナーを理解する。	
26	冠婚葬祭	冠婚葬祭のマナーについて理解する。	
27	冠婚葬祭	冠婚葬祭のマナーについて理解する。	
28	試験対策	試験対策 今までの復習	
29	試験対策	試験対策 今までの復習	
30	試験解説	試験解説 社会人教養で学ぶべき内容を理解する。	

## 授業計画表

ドッグトレーナー 科

MCL盛岡ペットワールド専門学校

<b>科目名</b> ペットビジネス教養 I (学校行事)	<b>教員名</b> 市村 香織	
<b>科目時間数</b> : 90 時間	<b>授業の種類</b> : <input checked="" type="checkbox"/> 講義 ・ 演習 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 実習	
<b>必修・選択の別</b> : <input checked="" type="checkbox"/> 必修・選択	<b>配当学年</b> : 1   <b>開講時期</b> : <input checked="" type="checkbox"/> 前期・ <input checked="" type="checkbox"/> 後期・集中	
<p><b>【授業の目的・ねらい】</b>          学校生活を実りあるものにするための考え方を学ぶ。          社会人に必要となる社会人基礎寮力を磨き、社会で働く心構えを身に付ける。</p> <p><b>【ドッグトレーナー科ディプロマポリシーとの関連】</b>          1. 犬や飼い主の要望に合わせたサポートができる          2. 人と動物のより良い関係づくりのために活動ができる  <input checked="" type="checkbox"/> 3. 動物と人の気持ちを考え、コミュニケーションが取れる  <input checked="" type="checkbox"/> 4. 社会で活躍と働くという心構えができている</p> <p><b>【授業全体の内容の概要】</b>          オリエンテーション、学校行事、国内研修等。</p> <p><b>【授業における達成課題】</b>          学校行事等を通じて、目標達成やその過程を経験して日常生活や就職後の活動で活躍できる。</p>		
	使用教材	出版社
学生用	プリント等	
<p><b>【教員担当の実務経験の有無】</b> <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無</p> <p><b>【内 容】</b>          ペットショップでペットショップスタッフとして勤務経験がある。</p> <p><b>【評価方法とその内容】</b>          受講姿勢と取組み成果、レポート、授業出席率90%以上。</p> <p><b>【必要な予習等の内容】</b>          行事等について、事前に担当分野の内容を打ち合わせをして授業に参加することを指示して実行する。</p>		

科目名 ペットビジネス教養Ⅰ（学校行事）		科目時間総数 90	時間	教員名 市村 香織
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標		
1	特別授業	オリエンテーション	学校での過ごし方	
2	特別授業	オリエンテーション	学校での過ごし方	
3	特別授業	オリエンテーション	学校での過ごし方	
4	特別授業	オリエンテーション	学校での過ごし方	
5	特別授業	オリエンテーション	学校での過ごし方	
6	特別授業	学生交流会		
7	特別授業	学生交流会		
8	特別授業	学生交流会		
9	特別授業	健康診断		
10	特別授業	健康診断		
11	特別授業	避難訓練		
12	特別授業	同行避難について		
13	行事	ドッグフェスティバル準備		
14	行事	ドッグフェスティバル準備		
15	行事	ドッグフェスティバル準備		
16	行事	ドッグフェスティバル準備		
17	行事	ドッグフェスティバル準備		
18	行事	ドッグフェスティバル準備		
19	行事	ドッグフェスティバル準備		
20	行事	ドッグフェスティバル準備		
21	行事	ドッグフェスティバル準備		
22	行事	ドッグフェスティバル準備		
23	行事	ドッグフェスティバル準備		
24	行事	ドッグフェスティバル準備		
25	行事	ドッグフェスティバル準備		
26	行事	ドッグフェスティバル準備		
27	行事	ドッグフェスティバル準備		
28	行事	ドッグフェスティバル準備		
29	行事	ドッグフェスティバル準備		
30	行事	ドッグフェスティバル準備		

時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標
31 回	行事	ドッグフェスティバル準備
32 回	行事	ドッグフェスティバル準備
33 回	行事	ドッグフェスティバル準備
34 回	行事	ドッグフェスティバル準備
35 回	行事	ドッグフェスティバル準備
36 回	行事	ドッグフェスティバル準備
37 回	行事	ドッグフェスティバル
38 回	行事	ドッグフェスティバル
39 回	行事	ドッグフェスティバル
40 回	行事	ドッグフェスティバル
41 回	行事	ドッグフェスティバル
42 回	行事	ドッグフェスティバル
43 回	行事	スポーツ大会
44 回	行事	スポーツ大会
45 回	行事	スポーツ大会
46 回	行事	スポーツ大会
47 回	行事	スポーツ大会
48 回	行事	スポーツ大会
49 回	特別授業	今までの振り返り
50 回	特別授業	目標の確認
51 回	特別授業	校長講話
52 回	特別授業	卒業生講話
53 回	特別授業	卒業生講話
54 回	特別授業	卒業生講話
55 回	行事	学園祭
56 回	行事	学園祭
57 回	行事	学園祭
58 回	行事	学園祭
59 回	行事	学園祭
60 回	行事	学園祭

時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標
61 回	行事	学園祭
62 回	行事	学園祭
63 回	行事	学園祭
64 回	特別授業	動物愛護週間 ボランティア活動
65 回	特別授業	動物愛護週間 ボランティア活動
66 回	特別授業	動物愛護週間 ボランティア活動
67 回	特別授業	国内研修
68 回	特別授業	国内研修
69 回	特別授業	国内研修
70 回	特別授業	国内研修
71 回	特別授業	国内研修
72 回	特別授業	国内研修
73 回	特別授業	国内研修
74 回	特別授業	国内研修
75 回	特別授業	国内研修
76 回	特別授業	国内研修
77 回	特別授業	国内研修
78 回	特別授業	国内研修
79 回	行事	MCLスポーツ大会
80 回	行事	MCLスポーツ大会
81 回	行事	MCLスポーツ大会
82 回	行事	ワンだふるL i f e i n はなまき準備
83 回	行事	ワンだふるL i f e i n はなまき準備
84 回	行事	ワンだふるL i f e i n はなまき準備
85 回	行事	ワンだふるL i f e i n はなまき準備
86 回	行事	ワンだふるL i f e i n はなまき準備
87 回	行事	ワンだふるL i f e i n はなまき準備
88 回	行事	ワンだふるL i f e i n はなまき準備
89 回	行事	ワンだふるL i f e i n はなまき準備
90 回	行事	ワンだふるL i f e i n はなまき準備

## 授業計画表

ドッグトレーナー 科

MCL盛岡ペットワールド専門学校

<b>科目名</b> インターンシップ実習 I	<b>教員名</b> 市村 香織	
<b>科目時間数:</b> 144 時間	<b>授業の種類:</b> <input checked="" type="checkbox"/> 講義 ・ 演習 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 実習	
<b>必修・選択の別:</b> <input checked="" type="checkbox"/> 必修・選択	<b>配当学年:</b> 1 <b>開講時期:</b> 前期・後期・ <input checked="" type="checkbox"/> 集中	
<p><b>【授業の目的・ねらい】</b>          修学した知識と技術が実際の動物関連分野でどのように活かされているかをペットサロン、ペットショップ、動物病院などで体験、実習をする。</p> <p><b>【ドッグトレーナー科ディプロマポリシーとの関連】</b>          1. 犬や飼い主の要望に合わせたサポートができる          2. 人と動物のより良い関係づくりのために活動ができる  <input checked="" type="checkbox"/> 3. 動物と人の気持ちを考え、コミュニケーションが取れる  <input checked="" type="checkbox"/> 4. 社会で活躍と働くという心構えができている</p> <p><b>【授業全体の内容の概要】</b>          インターンシップ（職場実習）として、ペットサロン、ペットショップ、動物病院などの施設構造や機能を理解しすることで、実践的な動物関連の仕事内容と専門知識及び倫理観を習得する。また、インターンシップ先への実習依頼については、学生が行うことでビジネスマナーを身に付ける。</p> <p><b>【授業における達成課題】</b>          動物関連業界への就職を実現するだけでなく、業界での活躍を目指す。</p>		
	使用教材	出版社
学生用	実践ビジネスマナー	ウイネット
<b>【教員担当の実務経験の有無】</b> <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無		
<b>【内 容】</b> ペットショップにてペットショップスタッフとしての実務経験あり		
<b>【評価方法とその内容】</b> 実習評価表（実習先記入）、インターンシップアンケート（実習先記入）、実習日誌・実習日程（学生、実習先記入）、インターンシップレポート・振り返りシート（学生記入）		
<b>【必要な予習等の内容】</b> 翌日の実習内容を担当者に確認をして、必要な内容について教科書等を活用して確認をする。		

科目名		科目時間総数	教員名
インターンシップ実習 I		144 時間	市村 香織
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標	
1 回	インターンシップの実施の説明	インターンシップの目的や取り組みについて理解する。	
2 回	インターンシップ実施報告会①	複数名の2年生の学生より、インターンシップの実施報告を聞き取り組みについての理解を深める。	
3 回	インターンシップ実施報告会②	複数名の2年生の学生より、インターンシップの実施報告を聞き取り組みについての理解を深める。	
4 回	インターンシップ実施報告会③	複数名の2年生の学生より、インターンシップの実施報告を聞き取り組みについての理解を深める。	
5 回	ビジネスマナーの基本①	インターンシップに向けて、ビジネスマナーの基本を理解する。	
6 回	ビジネスマナーの基本②	インターンシップに向けて、ビジネスマナーの基本を理解する。	
7 回	インターンシップ予定先への受入交渉①	インターンシップ予定先への受入交渉（電話）に向けて、電話対応マナーを理解する。	
8 回	インターンシップ予定先への受入交渉②	インターンシップ予定先への受入交渉（電話）に向けて、電話対応マナーを理解する。	
9 回	インターンシップ予定先への受入交渉③	インターンシップ予定先への受入について、電話で交渉をする。	
10 回	インターンシップの実施の目標設定①	インターンシップの目的や取り組みについて理解し上で、実習先や目標を設定する。	
11 回	インターンシップ（職場実習）	職場での実習により、具体的な仕事内容を理解する。	
12 回	インターンシップ（職場実習）	職場での実習により、具体的な仕事内容を理解する。	
13 回	インターンシップ（職場実習）	職場での実習により、具体的な仕事内容を理解する。	
14 回	インターンシップ（職場実習）	職場での実習により、具体的な仕事内容を理解する。	
15 回	インターンシップ（職場実習）	職場での実習により、具体的な仕事内容を理解する。	
16 回	インターンシップ（職場実習）	職場での実習により、具体的な仕事内容を理解する。	
17 回	インターンシップ（職場実習）	職場での実習により、具体的な仕事内容を理解する。	
18 回	インターンシップ（職場実習）	職場での実習により、具体的な仕事内容を理解する。	
19 回	インターンシップ（職場実習）	職場での実習により、具体的な仕事内容を理解する。	
20 回	インターンシップ（職場実習）	職場での実習により、具体的な仕事内容を理解する。	
21 回	インターンシップ（職場実習）	職場での実習により、具体的な仕事内容を理解する。	
22 回	インターンシップ（職場実習）	職場での実習により、具体的な仕事内容を理解する。	
23 回	インターンシップ（職場実習）	職場での実習により、具体的な仕事内容を理解する。	
24 回	インターンシップ（職場実習）	職場での実習により、具体的な仕事内容を理解する。	
25 回	インターンシップ（職場実習）	職場での実習により、具体的な仕事内容を理解する。	
26 回	インターンシップ（職場実習）	職場での実習により、具体的な仕事内容を理解する。	
27 回	インターンシップ（職場実習）	職場での実習により、具体的な仕事内容を理解する。	
28 回	インターンシップ（職場実習）	職場での実習により、具体的な仕事内容を理解する。	
29 回	インターンシップ（職場実習）	職場での実習により、具体的な仕事内容を理解する。	
30 回	インターンシップ（職場実習）	職場での実習により、具体的な仕事内容を理解する。	







時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標
121回	インターンシップ（職場実習）	職場での実習により、具体的な仕事内容を理解する。
122回	インターンシップ（職場実習）	職場での実習により、具体的な仕事内容を理解する。
123回	インターンシップ（職場実習）	職場での実習により、具体的な仕事内容を理解する。
124回	インターンシップ（職場実習）	職場での実習により、具体的な仕事内容を理解する。
125回	インターンシップ（職場実習）	職場での実習により、具体的な仕事内容を理解する。
126回	インターンシップ（職場実習）	職場での実習により、具体的な仕事内容を理解する。
127回	インターンシップ（職場実習）	職場での実習により、具体的な仕事内容を理解する。
128回	インターンシップ（職場実習）	職場での実習により、具体的な仕事内容を理解する。
129回	インターンシップ（職場実習）	職場での実習により、具体的な仕事内容を理解する。
130回	インターンシップ（職場実習）	職場での実習により、具体的な仕事内容を理解する。
131回	インターンシップ（職場実習）	職場での実習により、具体的な仕事内容を理解する。
132回	インターンシップ（職場実習）	職場での実習により、具体的な仕事内容を理解する。
133回	インターンシップ（職場実習）	職場での実習により、具体的な仕事内容を理解する。
134回	インターンシップ（職場実習）	職場での実習により、具体的な仕事内容を理解する。
135回	インターンシップ（職場実習）	職場での実習により、具体的な仕事内容を理解する。
136回	インターンシップ（職場実習）	職場での実習により、具体的な仕事内容を理解する。
137回	インターンシップ（職場実習）	職場での実習により、具体的な仕事内容を理解する。
138回	インターンシップ（職場実習）	職場での実習により、具体的な仕事内容を理解する。
139回	インターンシップ（職場実習）	職場での実習により、具体的な仕事内容を理解する。
140回	インターンシップ（職場実習）	職場での実習により、具体的な仕事内容を理解する。
141回	インターンシップ（職場実習）	職場での実習により、具体的な仕事内容を理解する。
142回	インターンシップ（職場実習）	職場での実習により、具体的な仕事内容を理解する。
143回	インターンシップ（職場実習）のまとめ①	実習日誌、インターンシップレポート、実習振り返りシートを作成する。
144回	インターンシップ（職場実習）のまとめ②	実習日誌、インターンシップレポート、実習振り返りシートを作成する。

## 授業計画表

ドッグトレーナー

科

MCL盛岡ペットワールド専門学校

<b>科目名</b> 動物看護学Ⅱ (動物看護基礎学)	<b>教員名</b> 高坂 恵梨香	
<b>科目時間数:</b> 30 時間	<b>授業の種類:</b> 講義 ・ 演習 ・ 実習	
<b>必修・選択の別:</b> 必修・選択	<b>配当学年:</b> 2 <b>開講時期:</b> 前期・後期・集中	
<p><b>【授業の目的・ねらい】</b> 犬の病気について知識を身につける</p> <p><b>【ドッグトレーナー科ディプロマポリシーとの関連】</b>            ① 犬や飼い主の要望に合わせたサポートができる            ② 人と動物のより良い関係づくりのために活動ができる            ③ 動物と人の気持ちを考え、コミュニケーションが取れる            ④ 社会で活躍と働くという心構えができている</p> <p><b>【授業全体の内容の概要】</b> 犬の病気について、種類、対処、予防法を学ぶ</p> <p><b>【授業における達成課題】</b> 犬の正常と異常を見極め、適切な対処ができる 病気の予防法を説明できる 授業出席率80%以上</p>		
	使用教材	出版社
学生用	わかる犬の病気	インターズー
<p><b>【教員担当の実務経験の有無】</b> 有 ・ 無</p> <p><b>【内 容】</b> 動物病院で動物看護師として勤務経験がある</p> <p><b>【評価方法とその内容】</b> 筆記試験での正答60%以上、授業出席率80%以上</p> <p><b>【必要な予習等の内容】</b> 次回の授業に向けて教科書を一読することを指示して実行する</p>		

科目名 動物看護学Ⅱ（動物疾病基礎）		科目時間総数 30	時間	教員名 高坂恵梨香
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標		
1 回	犬の全身チェック	全身部位の名称の確認。BCSについて理解し判断できる		
2 回	犬の全身チェック	ホルモンの影響で起きる体格の変化、トリミングの際の注意ポイントを理解する		
3 回	ズーノーシス	幼虫移行症、エキノコックス症、トキソプラズマ症について理解する		
4 回	ズーノーシス	狂犬病、SFTSについて理解する		
5 回	ズーノーシス	パストレラ症、猫ひっかき病について理解する		
6 回	ズーノーシス	レプトスピラ症、オウム病について理解する		
7 回	皮膚の病気	原発疹続発疹について理解する		
8 回	皮膚の病気	犬アトピー性皮膚炎、食物アレルギーについて理解する		
9 回	皮膚の病気	ノミアアレルギー、接触アレルギーについて理解する		
10 回	皮膚の病気	膿皮症、マラセチア皮膚炎、皮膚糸状菌症について理解する		
11 回	皮膚の病気	ニキビダニ症、脱毛症について理解する		
12 回	耳の病気	外耳炎、耳ヒゼンダニ症、疥癬について理解する		
13 回	耳の病気	耳血腫、中耳炎、内耳炎について理解する		
14 回	眼の病気	角膜炎、角膜潰瘍、白内障について理解する		
15 回	眼の病気	緑内障、睫毛異常、網膜の病気について理解する		
16 回	眼の病気	結膜炎、ぶどう膜炎、流涙症について理解する		
17 回	鼻と口の病気	歯周病、口鼻瘻管、乳歯遺残について理解する		
18 回	鼻と口の病気	歯磨きの仕方について理解し、説明できる		
19 回	おしり・お腹まわりの病気	下痢・血便、会陰ヘルニアについて理解する		
20 回	おしり・お腹まわりの病気	肛門嚢炎、肛門周囲の腫瘍について理解する		
21 回	おしり・お腹まわりの病気	腎不全、前立腺疾患について理解する		
22 回	おしり・お腹まわりの病気	膀胱炎、尿石症について理解する		
23 回	おしり・お腹まわりの病気	停留精巣、偽妊娠、子宮蓄膿症について理解する		
24 回	おしり・お腹まわりの病気	乳腺腫瘍、臍ヘルニアについて理解する		
25 回	足先・膝・腰まわりの病気	跛行している犬のトリミングの注意点について理解する		
26 回	足先・膝・腰まわりの病気	膝蓋骨脱臼、股関節形成不全について理解する		
27 回	足先・膝・腰まわりの病気	てんかん、水頭症、椎間板ヘルニアについて理解する		
28 回	シャンプーの基礎知識	薬用シャンプーの種類と働きについて理解する		
29 回	シャンプーの基礎知識	正しい清掃、消毒方法について理解する		
30 回	動物の病気まとめ	動物の病気について復習をして理解を深める		

## 授業計画表

ドッグトレーナー

科

MCL盛岡ペットワールド専門学校

<b>科目名</b> 動物看護学Ⅱ (栄養学)	<b>教員名</b> 笹 美冬						
<b>科目時間数：</b> 20 <b>時間</b>	<b>授業の種類：</b> <input checked="" type="checkbox"/> 講義 ・ <input type="checkbox"/> 演習 ・ <input type="checkbox"/> 実習						
<b>必修・選択の別：</b> <input checked="" type="checkbox"/> 必修 ・ <input type="checkbox"/> 選択	<b>配当学年：</b> 2 <b>開講時期：</b> 前期 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 後期 ・ 集中						
<p><b>【授業の目的・ねらい】</b>                  雌雄の違いの理解と判別、5大栄養素について基礎を理解し、また、罹患しやすい病気5つを、かかりやすい犬種とともに理解し、生体の管理を適切に行えるようになるのがねらい</p> <p><b>【ドッグトレーナー科ディプロマポリシーとの関連】</b>                  ① 犬や飼い主の要望に合わせたサポートができる                  ② 人と動物のより良い関係づくりのために活動ができる                  3. 動物と人の気持ちを考え、コミュニケーションが取れる                  4. 社会で活躍と働くという心構えができている</p> <p><b>【授業全体の内容の概要】</b>                  動物の健康維持として必要な医要素を学び、その基礎知識などを学び、様々なペットフードやパンフレット等に記載されている専門用語を理解し、飼い主に適切な栄養相談や指導を行うための知識を習得する。また、疾患に対しての適切な栄養学により、食事指導をする。</p> <p><b>【授業における達成課題】</b>                  筆記試験で60点以上</p>							
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;"></th> <th style="width: 40%;">使用教材</th> <th style="width: 30%;">出版社</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">学生用</td> <td style="text-align: center;">プリント</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		使用教材	出版社	学生用	プリント	
	使用教材	出版社					
学生用	プリント						
<p><b>【教員担当の実務経験の有無】</b> <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ <input type="checkbox"/> 無</p> <p><b>【内 容】</b>                  動物病院で獣医師としての勤務経験がある</p> <p><b>【評価方法とその内容】</b>                  筆記試験において60点以上、授業出席率90%以上。</p> <p><b>【必要な予習等の内容】</b>                  配布（プリント等）の復習をして、次回の授業に参加するように指示をして実行する。</p>							

科目名		科目時間総数	教員名
動物看護学Ⅱ（栄養学）		20 時間	笹 美冬
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標	
1 回	メス犬について（生殖器）	メス犬の生殖器の構造を理解する	
2 回	メス犬について（生殖器）	卵子ができ、排卵が起こるメカニズムを理解する	
3 回	オス犬について（生殖器）	オス犬の生殖器の構造を理解する	
4 回	オス犬について（生殖器）	生殖器の生理とホルモンについてを理解する	
5 回	メス犬について	発情周期とホルモンの関係を理解する	
6 回	メス猫の発情	猫の発情について理解する	
7 回	交尾について	交尾様式について理解する	
8 回	犬の妊娠について	妊娠に診断方法と、妊娠期の犬の変化について理解する	
9 回	犬の出産について	出産の経過について理解する	
10 回	犬の出産について	難産とはどういう状態のことか理解する	
11 回	犬の出産について 新生児のケア	帝王切開が必要な状態、犬種を理解する 新生児のケアはどのように行うのか理解する	
12 回	繁殖に係わる疾病について・まとめテスト	繁殖に関係の深い疾患について理解する	
13 回	栄養素について	栄養素の分類について理解する	
14 回	栄養素について	タンパク質について理解する	
15 回	栄養素について	脂質について理解する	
16 回	栄養素について	炭水化物について理解する	
17 回	栄養素について	ビタミンについて理解する	
18 回	栄養素について	ミネラルについて理解する	
19 回	栄養素の総まとめ	5台栄養素のについて説明できる	
20 回	産科繁殖パピーケアまとめ	試験により理解を深める	

## 授業計画表

ドッグトレーナー 科

MCL盛岡ペットワールド専門学校

<b>科目名</b> 動物飼養管理総論Ⅱ (飼育学Ⅱ)	<b>教員名</b> 市村 香織	
<b>科目時間数:</b> 20 時間	<b>授業の種類:</b> <input checked="" type="checkbox"/> 講義 ・ <input type="checkbox"/> 演習 ・ <input type="checkbox"/> 実習	
<b>必修・選択の別:</b> <input checked="" type="checkbox"/> 必修 ・ <input type="checkbox"/> 選択	<b>配当学年:</b> 2 <b>開講時期:</b> <input checked="" type="checkbox"/> 前期 ・ <input type="checkbox"/> 後期 ・ <input type="checkbox"/> 集中	
<b>【授業の目的・ねらい】</b> パピーの飼育管理、シニアの衰えについて知識を身に付け、飼い主に適切なアドバイスをすることができる。		
<b>【ドッグトレーナー科ディプロマポリシーとの関連】</b> 1. 犬や飼い主の要望に合わせたサポートができる <input checked="" type="checkbox"/> 2. 人と動物のより良い関係づくりのために活動ができる 3. 動物と人の気持ちを考え、コミュニケーションが取れる 4. 社会で活躍と働くという心構えができている		
<b>【授業全体の内容の概要】</b> パピーケアの仕方、シニアケアの仕方を座学形式で身に付ける。		
<b>【授業における達成課題】</b> 筆記試験において正答が80%以上。		
	使用教材	出版社
学生用	プリント等	
<b>【教員担当の実務経験の有無】</b> <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ <input type="checkbox"/> 無		
<b>【内 容】</b> ドッグトレーナーとしての勤務経験がある		
<b>【評価方法とその内容】</b> 筆記試験において正答が60%以上、授業出席率80%以上。		
<b>【必要な予習等の内容】</b> 次回の授業内容について教科書を活用して予習をすることを指示して実行する。		

科目名 動物飼養管理総論Ⅱ（飼育学Ⅱ）		科目時間総数 20	時間	教員名 市村 香織
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標		
1 回	パピーケア	犬のライフサイクルについて理解し、成長の変化を説明できる。		
2 回	パピーケア	子犬が親兄弟との関わりで身に付けることを3つ答えることができる		
3 回	パピーケア	子犬を迎える前に飼い主が考える、学ぶべきことを理解し説明できる。		
4 回	パピーケア	子犬の入手先を理解し、どのような施設で子犬を迎えるべきか説明できる。		
5 回	パピーケア	子犬を選ぶポイントを3つ答えることができ、説明できる。		
6 回	パピーケア	子犬を迎えた後に注意することを理解し、説明できる。		
7 回	パピーケア	子犬の運動について理解し、説明できる。		
8 回	パピーケア	子犬の遊びについて理解し、安全なおもちゃの選び方を説明できる。		
9 回	パピーケア	子犬の甘噛みについて説明できる。		
10 回	パピーケア	子犬の社会化について理解し、説明できる。		
11 回	パピーケア	社会化のポイントを説明できる。		
12 回	パピーケア	子犬の留守番について説明できる。		
13 回	パピーケア	子犬のトイレトレーニングについて説明できる。		
14 回	パピーケア	クレートの使用について理解し、適切なサイズやポイントを説明できる。		
15 回	パピーケア	お手入れについて理解し、必要なケアを受け入れてもらう為のポイントを説明できる。		
16 回	シニアケア	犬の年齢による衰えるポイントを説明できる。		
17 回	シニアケア	高齢犬との暮らし方について理解し、必要なケアを受け入れてもらう為のポイントを説明できる。		
18 回	シニアケア	ペットロスとは何か理解し、回復までのプロセスやペットロスによる症状を説明できる。		
19 回	シニアケア	ペットロスとは何かを理解し、気持ちの整理のつけ方を説明できる。		
20 回	シニアケア	見送り方について、合同火葬・個別一任火葬・個別立ち合い火葬とは何かを説明できる。		

科目名 動物飼養管理総論Ⅱ (飼育実習Ⅱ)		教員名 市村 香織	
科目時間数: 30 時間		授業の種類: 講義 ・ 演習 ・ 実習	
必修・選択 の別: <input checked="" type="radio"/> 必修 ・ 選択	配当学年: 2	開講時期: <input checked="" type="radio"/> 前期 ・ 後期 ・ 集中	
<p><b>【授業の目的・ねらい】</b>  学校動物の飼育の中から、飼い主の気持ちを知るとともに、適切な動物の飼育の仕方や適切な扱い方を身に付ける。  他者とコミュニケーションを取りながら、作業を進めるために必要な能力を身に付ける。  下級学生へ指導する能力を身に付ける。</p> <p><b>【ドッグトレーナー科ディプロマポリシーとの関連】</b>  1. 犬や飼い主の要望に合わせたサポートができる  <input checked="" type="radio"/> 2. 人と動物のより良い関係づくりのために活動ができる  <input checked="" type="radio"/> 3. 動物と人の気持ちを考え、コミュニケーションが取れる  4. 社会で活躍と働くという心構えができている</p> <p><b>【授業全体の内容の概要】</b>  学校犬、猫、小動物の飼育法について、下級学生へ指導をしながら、学校動物の飼育管理を行う。</p> <p><b>【授業における達成課題】</b>  学校にいる動物について基本的な飼育ができる。</p>			
	使用教材	出版社	
学生	プリント等		
<b>【教員担当の実務経験の有無】</b> <input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無 <b>【内 容】</b> ドッグトレーナーとして勤務経験あり			
<b>【評価方法とその内容】</b> 授業出席率80%以上。			
<b>【必要な予習等の内容】</b> 配布資料（プリント等）の復習をして、次回の授業に参加するように指示をして実行する。			

科目名		科目時間総数	教員名
動物飼養管理総論Ⅱ(飼育実習)		30 時間	市村 香織
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標	
1 回	小動物の飼育	小動物の運動について理解を深める。オモチャの扱い方を学び、実際の飼育に使用する。	
2 回	小動物の飼育	小動物の休息について理解を深める。小動物がいる環境設定について学ぶ。	
3 回	小動物の飼育	小動物の休息について理解を深める。小動物がいる環境設定について学び、実際の猫の飼育に使用する。	
4 回	小動物の飼育	小動物との関わり方について理解を深める。良い関係を築くために、どのような方法があるかを知る。	
5 回	小動物の飼育	小動物との関わり方について理解を深める。良い関係を築くために、どのような方法があるかを知り、実際の飼育に使用する。	
6 回	小動物の飼育	小動物の健康管理について理解を深める。異常と正常の違いを知る。	
7 回	小動物の飼育	小動物の健康管理について理解を深める。異常と正常の違いを知り、実際の飼育に使用する。	
8 回	小動物の飼育	小動物の健康管理について理解を深める。健康維持をするために、どのようなボディケアが必要かを理解する。	
9 回	小動物の飼育	小動物の健康管理について理解を深める。健康維持をするために、どのようなボディケアが必要かを理解し、実際の飼育に使用する。	
10 回	飼い主への説明	相手に情報を分かりやすく伝える方法を学び、相手に合わせて説明する意識を持つ。	
11 回	飼い主への説明	イヌの基本的な扱い方、接し方について説明する能力を身に付ける	
12 回	飼い主への説明	イヌの食事の準備の仕方、与え方について説明する能力を身に付ける。	
13 回	飼い主への説明	イヌの運動の仕方、注意点について説明する能力を身に付ける。	
14 回	飼い主への説明	イヌの環境を設定する方法、注意点について説明する能力を身に付ける。	
15 回	飼い主への説明	イヌとの社会的な関わり方を説明する能力を身に付ける。	
16 回	飼い主への説明	イヌの異常を発見し、適切な対処法を説明する能力を身に付ける。	
17 回	飼い主への説明	ネコの基本的な扱い方、接し方について説明する能力を身に付ける	
18 回	飼い主への説明	ネコの食事の準備の仕方、与え方について説明する能力を身に付ける。	
19 回	飼い主への説明	ネコの運動の仕方、注意点について説明する能力を身に付ける。	
20 回	飼い主への説明	ネコの環境を設定する方法、注意点について説明する能力を身に付ける。	
21 回	飼い主への説明	ネコとの社会的な関わり方を説明する能力を身に付ける。	
22 回	飼い主への説明	ネコの異常を発見し、適切な対処法を説明する能力を身に付ける。	
23 回	飼い主への説明	小動物の基本的な扱い方、接し方について説明する能力を身に付ける	
24 回	飼い主への説明	小動物の食事の準備の仕方、与え方について説明する能力を身に付ける。	
25 回	飼い主への説明	小動物の運動の仕方、注意点について説明する能力を身に付ける。	
26 回	飼い主への説明	小動物の環境を設定する方法、注意点について説明する能力を身に付ける。	
27 回	飼い主への説明	小動物との社会的な関わり方を説明する能力を身に付ける。	
28 回	飼い主への説明	小動物の異常を発見し、適切な対処法を説明する能力を身に付ける。	
29 回	飼い主への説明	ペットを適切に飼育するために、飼い主がすべきことについて、グループで討論し、理解を深める。	
30 回	飼い主への説明	ペットを適切に飼育することを普及するために、動物のプロができることについて、グループで討論し、理解を深める。	



科目名 グルーミング学Ⅱ (グルーミング実習Ⅱ)		科目時間総数 120 時間	教員名 佐藤 丈嗣
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標	
1	生体実習	3人で作業をし安全に終わることが出来る	
2	生体実習	3人で作業をし安全に終わることが出来る	
3	生体実習	3人で作業をし安全に終わることが出来る	
4	生体実習	3人で作業をし安全に終わることが出来る	
5	生体実習	3人で作業をし安全に終わることが出来る	
6	生体実習	3人で作業をし安全に終わることが出来る	
7	生体実習	3人で作業をし安全に終わることが出来る	
8	生体実習	3人で作業をし安全に終わることが出来る	
9	生体実習	3人で作業をし安全に終わることが出来る	
10	生体実習	3人で作業をし安全に終わることが出来る	
11	生体実習	3人で作業をし安全に終わることが出来る	
12	生体実習	3人で作業をし安全に終わることが出来る	
13	生体実習	3人で作業をし安全に終わることが出来る	
14	生体実習	3人で作業をし安全に終わることが出来る	
15	生体実習	3人で作業をし安全に終わることが出来る	
16	生体実習	3人で作業をし安全に終わることが出来る	
17	生体実習	3人で作業をし安全に終わることが出来る	
18	生体実習	3人で作業をし安全に終わることが出来る	
19	生体実習	3人で作業をし安全に終わることが出来る	
20	生体実習	3人で作業をし安全に終わることが出来る	
21	生体実習	3人で作業をし安全に終わることが出来る	
22	生体実習	3人で作業をし安全に終わることが出来る	
23	生体実習	3人で作業をし安全に終わることが出来る	
24	生体実習	3人で作業をし安全に終わることが出来る	
25	生体実習	3人で作業をし安全に終わることが出来る	
26	生体実習	3人で作業をし安全に終わることが出来る	
27	生体実習	3人で作業をし安全に終わることが出来る	
28	生体実習	3人で作業をし安全に終わることが出来る	
29	生体実習	3人で作業をし安全に終わることが出来る	
30	生体実習	3人で作業をし安全に終わることが出来る	

時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標
31 回	生体実習	3人で作業をし安全に終わることが出来る
32 回	生体実習	3人で作業をし安全に終わることが出来る
33 回	生体実習	2人で作業をし安全に終わることが出来る
34 回	生体実習	2人で作業をし安全に終わることが出来る
35 回	生体実習	2人で作業をし安全に終わることが出来る
36 回	生体実習	2人で作業をし安全に終わることが出来る
37 回	生体実習	2人で作業をし安全に終わることが出来る
38 回	生体実習	2人で作業をし安全に終わることが出来る
39 回	生体実習	2人で作業をし安全に終わることが出来る
40 回	生体実習	2人で作業をし安全に終わることが出来る
41 回	生体実習	2人で作業をし安全に終わることが出来る
42 回	生体実習	2人で作業をし安全に終わることが出来る
43 回	生体実習	2人で作業をし安全に終わることが出来る
44 回	生体実習	2人で作業をし安全に終わることが出来る
45 回	生体実習	2人で作業をし安全に終わることが出来る
46 回	生体実習	2人で作業をし安全に終わることが出来る
47 回	生体実習	2人で作業をし安全に終わることが出来る
48 回	生体実習	2人で作業をし安全に終わることが出来る
49 回	生体実習	2人で作業をし安全に終わることが出来る
50 回	生体実習	2人で作業をし安全に終わることが出来る
51 回	生体実習	2人で作業をし安全に終わることが出来る
52 回	生体実習	2人で作業をし安全に終わることが出来る
53 回	生体実習	2人で作業をし安全に終わることが出来る
54 回	生体実習	2人で作業をし安全に終わることが出来る
55 回	生体実習	2人で作業をし安全に終わることが出来る
56 回	生体実習	2人で作業をし安全に終わることが出来る
57 回	生体実習	2人で作業をし安全に終わることが出来る
58 回	生体実習	2人で作業をし安全に終わることが出来る
59 回	生体実習	2人で作業をし安全に終わることが出来る
60 回	生体実習	2人で作業をし安全に終わることが出来る

時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標
61 回	生体実習	2人で作業をし安全に終わることが出来る
62 回	生体実習	2人で作業をし安全に終わることが出来る
63 回	生体実習	2人で作業をし安全に終わることが出来る
64 回	生体実習	2人で作業をし安全に終わることが出来る
65 回	生体実習	2人で作業をし安全に終わることが出来る
66 回	生体実習	2人で作業をし安全に終わることが出来る
67 回	生体実習	2人で作業をし安全に終わることが出来る
68 回	生体実習	2人で作業をし安全に終わることが出来る
69 回	生体実習	2人で作業をし安全に終わることが出来る
70 回	生体実習	2人で作業をし安全に終わることが出来る
71 回	生体実習	2人で作業をし安全に終わることが出来る
72 回	生体実習	2人で作業をし安全に終わることが出来る
73 回	生体実習	2人で作業をし安全に終わることが出来る
74 回	生体実習	2人で作業をし安全に終わることが出来る
75 回	生体実習	2人で作業をし安全に終わることが出来る
76 回	生体実習	2人で作業をし安全に終わることが出来る
77 回	生体実習	2人で作業をし安全に終わることが出来る
78 回	生体実習	2人で作業をし安全に終わることが出来る
79 回	生体実習	2人で作業をし安全に終わることが出来る
80 回	生体実習	2人で作業をし安全に終わることが出来る
81 回	生体実習	2人で作業をし安全に終わることが出来る
82 回	生体実習	2人で作業をし安全に終わることが出来る
83 回	生体実習	2人で作業をし安全に終わることが出来る
84 回	生体実習	2人で作業をし安全に終わることが出来る
85 回	生体実習	2人で作業をし安全に終わることが出来る
86 回	生体実習	2人で作業をし安全に終わることが出来る
87 回	生体実習	2人で作業をし安全に終わることが出来る
88 回	生体実習	2人で作業をし安全に終わることが出来る
89 回	生体実習	2人で作業をし安全に終わることが出来る
90 回	生体実習	2人で作業をし安全に終わることが出来る

時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標
91 回	生体実習	2人で作業をし安全に終わることが出来る
92 回	生体実習	2人で作業をし安全に終わることが出来る
93 回	生体実習	2人で作業をし安全に終わることが出来る
94 回	生体実習	2人で作業をし安全に終わることが出来る
95 回	生体実習	2人で作業をし安全に終わることが出来る
96 回	生体実習	2人で作業をし安全に終わることが出来る
97 回	生体実習	2人で作業をし安全に終わることが出来る
98 回	生体実習	2人で作業をし安全に終わることが出来る
99 回	生体実習	2人で作業をし安全に終わることが出来る
100 回	生体実習	2人で作業をし安全に終わることが出来る
101 回	生体実習	2人で作業をし安全に終わることが出来る
102 回	生体実習	2人で作業をし安全に終わることが出来る
103 回	生体実習	2人で作業をし安全に終わることが出来る
104 回	生体実習	2人で作業をし安全に終わることが出来る
105 回	生体実習	2人で作業をし安全に終わることが出来る
106 回	生体実習	2人で作業をし安全に終わることが出来る
107 回	生体実習	2人で作業をし安全に終わることが出来る
108 回	生体実習	2人で作業をし安全に終わることが出来る
109 回	生体実習	2人で作業をし安全に終わることが出来る
110 回	生体実習	2人で作業をし安全に終わることが出来る
111 回	生体実習	2人で作業をし安全に終わることが出来る
112 回	生体実習	2人で作業をし安全に終わることが出来る
113 回	生体実習	2人で作業をし安全に終わることが出来る
114 回	生体実習	2人で作業をし安全に終わることが出来る
115 回	生体実習	2人で作業をし安全に終わることが出来る
116 回	生体実習	2人で作業をし安全に終わることが出来る
117 回	生体実習	2人で作業をし安全に終わることが出来る
118 回	生体実習	2人で作業をし安全に終わることが出来る
119 回	生体実習	2人で作業をし安全に終わることが出来る
120 回	生体実習	2人で作業をし安全に終わることが出来る



科目名 グルーミング学Ⅱ（犬種総論Ⅱ）		科目時間総数 20 時間	教員名 小松 里菜
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標	
1 回	1年次の復習	JKC人気犬種の犬種名を答える。昨年度の犬畜登録数を確認し、人気犬種を理解する	
2 回	1年次の復習	JKC第1～10グループについて、どんな特性を持った集まりかを理解する。	
3 回	犬の管理	モーターパターンを理解し、犬の管理について知識を増やす	
4 回	人気犬種について	人気犬種1～2位の飼育方法、行動特性、お手入れの方法、しつけ方法、病気を理解する	
5 回	人気犬種について	人気犬種3～4位の飼育方法、行動特性、お手入れの方法、しつけ方法、病気を理解する	
6 回	人気犬種について	人気犬種5位の飼育方法、行動特性、お手入れの方法、しつけ方法、病気を理解する。1～5位について復習する。	
7 回	人気犬種について	人気犬種6～7位の飼育方法、行動特性、お手入れの方法、しつけ方法、病気を理解する	
8 回	人気犬種について	人気犬種8～9位の飼育方法、行動特性、お手入れの方法、しつけ方法、病気を理解する	
9 回	人気犬種について	人気犬種10位の飼育方法、行動特性、お手入れの方法、しつけ方法、病気を理解する	
10 回	復習	人気犬種1～10位について、復習する。	
11 回	人気犬種について	試験解説 人気犬種11位の飼育方法について理解する。	
12 回	人気犬種について	人気犬種12～13位の飼育方法、行動特性、お手入れの方法、しつけ方法、病気を理解する	
13 回	人気犬種について	人気犬種14～15位の飼育方法、行動特性、お手入れの方法、しつけ方法、病気を理解する。	
14 回	復習	人気犬種1～15位まで復習する。	
15 回	人気犬種について	人気犬種16～17位の飼育方法、行動特性、お手入れの方法、しつけ方法、病気を理解する	
16 回	人気犬種について	人気犬種18～19位の飼育方法、行動特性、お手入れの方法、しつけ方法、病気を理解する	
17 回	人気犬種について	人気犬種20位の飼育方法、行動特性、お手入れの方法、しつけ方法、病気を理解する	
18 回	復習	人気犬種1～16位まで復習する。	
19 回	人気犬種について	犬種の毛色について、1年生の復習と最近のはやりについて知る。	
20 回	今後について	現代の人気犬種の傾向について理解する。	



科目名 グルーミング学Ⅱ（猫種総論Ⅱ）		科目時間総数 20	時間	教員名 高坂 恵梨香
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標		
1 回	オリエンテーション	授業の目的、到達目標を説明する。		
2 回	復習	猫種総論Ⅰの内容を振り返り、復習をする。		
3 回	ソマリ	発祥年代・原産国・祖先・体重・体型・毛質・毛色・目色・特徴を理解する。		
4 回	ソマリ	発祥年代・原産国・祖先・体重・体型・毛質・毛色・目色・特徴を理解する。		
5 回	バーマン	発祥年代・原産国・祖先・体重・体型・毛質・毛色・目色・特徴を理解する。		
6 回	バーマン	発祥年代・原産国・祖先・体重・体型・毛質・毛色・目色・特徴を理解する。		
7 回	ターキッシュ・バン	発祥年代・原産国・祖先・体重・体型・毛質・毛色・目色・特徴を理解する。		
8 回	ターキッシュ・バン	発祥年代・原産国・祖先・体重・体型・毛質・毛色・目色・特徴を理解する。		
9 回	ラガマフィン	発祥年代・原産国・祖先・体重・体型・毛質・毛色・目色・特徴を理解する。		
10 回	ラガマフィン	発祥年代・原産国・祖先・体重・体型・毛質・毛色・目色・特徴を理解する。		
11 回	ペルシャ	発祥年代・原産国・祖先・体重・体型・毛質・毛色・目色・特徴を理解する。		
12 回	ペルシャ	発祥年代・原産国・祖先・体重・体型・毛質・毛色・目色・特徴を理解する。		
13 回	復習	今までの内容を振り返り、復習する。		
14 回	サイアミーズ	発祥年代・原産国・祖先・体重・体型・毛質・毛色・目色・特徴を理解する。		
15 回	サイアミーズ	発祥年代・原産国・祖先・体重・体型・毛質・毛色・目色・特徴を理解する。		
16 回	オリエンタル	発祥年代・原産国・祖先・体重・体型・毛質・毛色・目色・特徴を理解する。		
17 回	オリエンタル	発祥年代・原産国・祖先・体重・体型・毛質・毛色・目色・特徴を理解する。		
18 回	エジプシャンマウ	発祥年代・原産国・祖先・体重・体型・毛質・毛色・目色・特徴を理解する。		
19 回	エジプシャンマウ	発祥年代・原産国・祖先・体重・体型・毛質・毛色・目色・特徴を理解する。		
20 回	まとめ	猫種総論Ⅱの確認テストを行い理解を深める。		

## 授業計画表

ドッグトレーナー 科

MCL盛岡ペットワールド専門学校

<b>科目名</b> しつけトレーニング学Ⅱ (インストラクション)	<b>教員名</b> 三上 祐太	
<b>科目時間数</b> : 20 時間	<b>授業の種類</b> : 講義 ・ 演習 ・ 実習	
<b>必修・選択の別</b> : 必修・選択	<b>配当学年</b> : 2 <b>開講時期</b> : 前期・後期・集中	
<p><b>【授業の目的・ねらい】</b>          人にわかりやすく伝える能力を身につけるのがねらい。          プライベートレッスンのインストラクション、グループレッソンのアシスタントができるようになる。</p> <p><b>【ドッグトレーナー科ディプロマポリシーとの関連】</b>          ① 犬や飼い主の要望に合わせたサポートができる          ② 人と動物のより良い関係づくりのために活動ができる          ③ 動物と人の気持ちを考え、コミュニケーションが取れる          ④ 社会で活躍と働くという心構えができている</p> <p><b>【授業全体の内容の概要】</b>          人にわかりやすく伝えるためのEDICT          プライベートレッスンを運営する          グループレッスンのアシスタントをする</p> <p><b>【授業における達成課題】</b>          筆記試験で正答率が60%以上。          学校認定ドッグトレーナーライセンスⅡの合格</p>		
	使用教材	出版社
学生用	プリント等	
<p><b>【教員担当の実務経験の有無】</b> 有 ・ 無</p> <p><b>【内 容】</b></p>		
<p><b>【評価方法とその内容】</b>          筆記試験で正答率60%、授業出席率90%以上。</p>		
<p><b>【必要な予習等の内容】</b>          次回の授業に向けてプリント等活用して復習することを指示し実行する。</p>		

科目名 つげトレーニング学Ⅱ(インストラ		科目時間総数 20	時間	教員名 三上 祐太
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標		
1 回	インストラクションとは	インストラクションの意味の復習		
2 回	インストラクションとは	人にわかりやすく伝えるための基本の復習		
3 回	インストラクションとは	E D I C Tの復習		
4 回	インストラクションとは	プライベートレッスンとグループレッソンの違い復習		
5 回	インストラクションとは	安全にレッスンを行う 復習		
6 回	インストラクションとは	安全にレッスンを行う 人の行動管理		
7 回	インストラクションとは	安全にレッスンを行う 犬の行動管理		
8 回	インストラクションとは	安全にレッスンを行う 犬の行動管理		
9 回	実践練習	レッスンの組み立て (認定試験対策)		
10 回	実践練習	レッスンの組み立て (認定試験対策)		
11 回	実践練習	レッスンの組み立て (認定試験対策)		
12 回	実践練習	レッスンの組み立て (認定試験対策)		
13 回	実践練習	レッスンの組み立て (認定試験対策)		
14 回	実践練習	レッスンの組み立て (認定試験対策)		
15 回	実践練習	レッスンの組み立て (認定試験対策)		
16 回	実践練習	レッスンの組み立て (認定試験対策)		
17 回	実践練習	レッスンの組み立て (認定試験対策)		
18 回	実践練習	レッスンの組み立て (認定試験対策)		
19 回	実践練習	レッスンの組み立て (認定試験対策)		
20 回	まとめ	振り返り		

# 授業計画表

ドッグトレーナー 科

MCL盛岡ペットワールド専門学校

<b>科目名</b> しつけトレーニング学Ⅱ (しつけトレーニング実習Ⅱ)	<b>教員名</b> 伊勢 仁英						
<b>科目時間数:</b> 150 時間	<b>授業の種類:</b> 講義 ・ 演習 ・ 実習						
<b>必修・選択の別:</b> 必修・選択	<b>配当学年:</b> 2 <b>開講時期:</b> 前期・後期・集中						
<p><b>【授業の目的・ねらい】</b>          イヌを安全に管理する技術と知識を身につける          犬の学習理論を理解し、普段の生活に活かす。          パートナー犬に行動を教え、マナーを守りながら、犬と安全に活動ができる          飼い主様にわかりやすく説明することができる</p> <p><b>【ドッグトレーナー科ディプロマポリシーとの関連】</b>          1. 犬や飼い主の要望に合わせたサポートができる          ② 人と動物のより良い関係づくりのために活動ができる          ③ 動物と人の気持ちを考え、コミュニケーションが取れる          4. 社会で活躍と働くという心構えができている</p> <p><b>【授業全体の内容の概要】</b>          イヌのコントロール、観察およびボディランゲージを読みとり、現状を把握する。犬がトラブルに巻き込まれないための管理。犬の学習理論を理解し、普段の生活に取り入れる。          パートナー犬を決め、その子に行動を教え、安全と一緒に活動する          人へ説明するインストラクション能力を高める</p> <p><b>【授業における達成課題】</b>          筆記試験での正答が60%以上。          マナーチャレンジおよび学校認定トレーナーライセンス合格。</p>							
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;"></th> <th style="width: 40%;">使用教材</th> <th style="width: 30%;">出版社</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="padding: 5px;">学生用</td> <td style="padding: 5px;">プリント等</td> <td style="padding: 5px;"></td> </tr> </tbody> </table>		使用教材	出版社	学生用	プリント等	
	使用教材	出版社					
学生用	プリント等						
<p><b>【教員担当の実務経験の有無】</b> 有 ・ 無</p> <p><b>【内 容】</b>          ドッグトレーナーとして勤務経験がある</p>							
<p><b>【評価方法とその内容】</b>          筆記試験で正答率60点%以上、授業出席率80%以上。</p>							
<p><b>【必要な予習等の内容】</b>          今回の授業に向けて、プリント等を活用して復習をことを指示し実行する。</p>							

科目名		科目時間総数	教員名
しつけトレーニング学Ⅱ（しつけトレーニング実習Ⅱ）		150	伊勢 仁英
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標	
1	行動形成	誘導法	誘導法を使って、オスワリフセタテを形成できる
2	行動形成	誘導法	誘導法を使って、オスワリフセタテを形成できる
3	行動形成	観察	犬の状態を適切に観察することができる
4	行動形成	観察	犬の状態を適切に観察することができる
5	行動形成	誘導法	誘導法を使って、ヒールポジションを形成できる
6	行動形成	誘導法	誘導法を使って、ヒールポジションを形成できる
7	イベント運営	安全に犬を管理する方法を説明できる	
8	イベント運営	安全に犬を管理する方法を説明できる	
9	イベント運営	安全に複数の犬を管理する方法を説明できる	
10	イベント運営	安全に複数の犬を管理する方法を説明できる	
11	イベント運営	分かりやすい説明 デモンストレーションができる	
12	イベント運営	分かりやすい説明 デモンストレーションができる	
13	行動形成	オスワリを教える手順を説明できる	
14	行動形成	10秒間で1回で5回おすわりさせることができる	
15	行動形成	般化 弁別 馴化 を説明することができる	
16	行動形成	般化 弁別 馴化 を説明することができる	
17	行動形成	犬の行動に合わせて合図を出すことができる	
18	行動形成	犬の行動に合わせて合図を出すことができる	
19	行動形成	犬の行動を観察し、その犬に合ったトレーニングができる	
20	行動形成	犬の行動を観察し、その犬に合ったトレーニングができる	
21	行動形成	誘導法	誘導法を使って、ついてくることを教えることができる
22	行動形成	誘導法	誘導法を使って、ついてくることを教えることができる
23	行動形成	正の強化と負の弱化で行動を教えることができる	
24	行動形成	正の強化と負の弱化で行動を教えることができる	
25	行動形成	クリッカーを使って、オスワリを教えることができる	
26	行動形成	クリッカーを使って、オスワリを教えることができる	
27	行動形成	クリッカーを使って、フセを教えることができる	
28	行動形成	弁別刺激、分化強化をすることができる	
29	行動形成	ヒールポジションを形成することができる	
30	行動形成	ヒールポジションを形成することができる	

科目名		科目時間総数	教員名
しつけトレーニング学Ⅱ (しつけトレーニング実習Ⅱ)		150 時間	伊勢 仁英
31	行動形成	ハンドターゲットを犬に教えることができる	
32	行動形成	ハンドターゲットを使って、ヒーリングを形成できる	
33	行動形成	身体的プロンプトについて説明できる	
34	行動形成	視覚的プロンプトについて説明できる	
35	行動形成	聴覚的プロンプトについて説明できる	
36	行動形成	クリッカーを使い、アテンションを取ることができる	
37	行動形成	犬に許可を与えることを教えることができる	
38	行動形成	強化と強化子について説明し、適切に使用することができる	
39	行動形成	強化と強化子について説明し、適切に使用することができる	
40	行動形成	オスワリマテ、ヒールを形成できる	
41	行動形成	オスワリマテ、ヒールを形成できる	
42	行動形成	アテンション オスワリマテを形成できる	
43	行動形成	アテンション オスワリマテを形成できる	
44	行動形成	飛びつき防止のトレーニングができる	
45	行動形成	飛びつき防止のトレーニングができる	
46	行動形成	ヒーリングを形成できる	
47	行動形成	ヒーリングを形成できる	
48	行動形成	オペラント条件付けについて4つの例題を出すことができる	
49	行動形成	オスワリマテ ヒーリング フセマテ 飛びつき防止のトレーニングを形成することができる	
50	行動形成	報酬を抜くトレーニングができる	
51	行動形成	報酬を抜くトレーニングができる	
52	行動形成	他人とのあいさつのトレーニングができる	
53	行動形成	呼びもしのトレーニングができる	
54	行動形成	オスワリマテの距離を伸ばすトレーニングができる	
55	行動形成	オスワリマテの時間を伸ばすトレーニングができる	
56	行動形成	フセマテの距離、時間を伸ばすトレーニングができる	
57	行動形成	適切なフードデリバリーができる	
58	行動形成	適切なフードデリバリーができる	
59	行動形成	トレーニングプランを立てることができる	
60	行動形成	トレーニングプランを立てることができる	







## 授業計画表

ドッグトレーナー 科

MCL盛岡ペットワールド専門学校

<b>科目名</b> しつけトレーニング学Ⅱ (行動学Ⅱ)	<b>教員名</b> 佐藤 丈嗣
<b>科目時間数:</b> 50 時間	<b>授業の種類:</b> 講義 ・ 演習 ・ <u>実習</u>
<b>必修・選択の別:</b> <u>必修</u> ・選択	<b>配当学年:</b> 2 <b>開講時期:</b> <u>前期</u> ・ <u>後期</u> ・集中
<p><b>【授業の目的・ねらい】</b>          イヌを安全に管理する技術と知識を身につける          犬の学習理論を理解し、普段の生活に活かす。          パートナー犬に行動を教え、マナーを守りながら、犬と安全に活動ができる          飼い主様にわかりやすく説明することができる</p> <p><b>【ドッグトレーナー科ディプロマポリシーとの関連】</b>          1. 犬や飼い主の要望に合わせたサポートができる          ② 人と動物のより良い関係づくりのために活動ができる          ③ 動物と人の気持ちを考え、コミュニケーションが取れる          4. 社会で活躍と働くという心構えができている</p> <p><b>【授業全体の内容の概要】</b>          イヌのコントロール、観察およびボディランゲージを読みとり、現状を把握する。犬がトラブルに巻き込まれないための管理。犬の学習理論を理解し、普段の生活に取り入れる。          パートナー犬を決め、その子に行動を教え、安全と一緒に活動する          人へ説明するインストラクション能力を高める</p> <p><b>【授業における達成課題】</b>          筆記試験の正答率が60%以上          マナーチャレンジおよび学校認定トレーナーライセンス合格</p>	
	<b>使用教材</b>
学生用	プリント等
	<b>出版社</b>
<p><b>【教員担当の実務経験の有無】</b> <u>有</u> ・ 無</p> <p><b>【内 容】</b>          ペットショップにて、ドッグトレーナーとして勤務経験がある</p>	
<p><b>【評価方法とその内容】</b>          筆記試験で正答率60%以上、授業出席率80%以上。</p>	
<p><b>【必要な予習等の内容】</b>          次回の授業に向けて、プリント等を活用して復習をすることを指示し実行する。</p>	

科目名 しつけトレーニング学Ⅱ（行動学Ⅱ）		科目時間総数 50 時間	教員名 佐藤 丈嗣
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標	
1 回	行動形成	誘導法 誘導法を使って、オスワリフセマテを形成できる	
2 回	行動形成	誘導法 誘導法を使って、ヒールポジションを形成できる	
3 回	行動形成	安全に犬を管理する方法を説明できる	
4 回	行動形成	分かりやすい説明 デモンストレーションができる	
5 回	行動形成	般化 弁別 馴化 を説明することができる	
6 回	行動形成	犬の行動に合わせて合図を出すことができる	
7 回	行動形成	クリッカーを使って、オスワリを教えることができる	
8 回	行動形成	クリッカーを使って、オスワリを教えることができる	
9 回	行動形成	ヒールポジションを形成することができる	
10 回	行動形成	ハンドターゲットを犬に教えることができる	
11 回	行動形成	クリッカーを使い、アテンションを取ることができる	
12 回	行動形成	犬に許可を与えることを教えることができる	
13 回	行動形成	強化と強化子について説明し、適切に使用することができる	
14 回	行動形成	オスワリマテ、ヒールを形成できる	
15 回	行動形成	アテンション オスワリマテを形成できる	
16 回	行動形成	飛びつき防止のトレーニングができる	
17 回	行動形成	ヒーリングを形成できる	
18 回	行動形成	ヒーリングを形成できる	
19 回	行動形成	報酬を抜くトレーニングができる	
20 回	行動形成	報酬を抜くトレーニングができる	
21 回	行動形成	他人とのあいさつのトレーニングができる	
22 回	行動形成	呼びもしのトレーニングができる	
23 回	行動形成	オスワリマテの距離を伸ばすトレーニングができる	
24 回	行動形成	オスワリマテの時間を伸ばすトレーニングができる	
25 回	行動形成	フセマテの距離、時間を伸ばすトレーニングができる	
26 回	行動形成	適切なフードデリバリーができる	
27 回	行動形成	トレーニングプランを立てることができる	
28 回	行動形成	トレーニングプランを立てることができる	
29 回	行動形成	トレーニングプランを立てることができる	
30 回	行動形成	タテマテを形成することができる	

科目名		科目時間総数	教員名
しつけトレーニング学Ⅱ（行動学Ⅱ）		50	佐藤 丈嗣
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標	
31 回	検定対策	マナーチャレンジに合格するためのトレーニングプランを立て、実行できる	
32 回	検定対策	マナーチャレンジに合格するためのトレーニングプランを立て、実行できる	
33 回	検定対策	マナーチャレンジに合格するためのトレーニングプランを立て、実行できる	
34 回	検定対策	マナーチャレンジに合格するためのトレーニングプランを立て、実行できる	
35 回	検定対策	マナーチャレンジに合格するためのトレーニングプランを立て、実行できる	
36 回	検定対策	マナーチャレンジに合格するためのトレーニングプランを立て、実行できる	
37 回	検定対策	マナーチャレンジに合格するためのトレーニングプランを立て、実行できる	
38 回	検定対策	マナーチャレンジに合格するためのトレーニングプランを立て、実行できる	
39 回	検定対策	マナーチャレンジに合格するためのトレーニングプランを立て、実行できる	
40 回	検定対策	マナーチャレンジに合格するためのトレーニングプランを立て、実行できる	
41 回	検定対策	今までのトレーニングの反省	
42 回	検定対策	学校認定ドッグトレーナーライセンスを合格するためのトレーニングプランを立て、実行できる	
43 回	検定対策	学校認定ドッグトレーナーライセンスを合格するためのトレーニングプランを立て、実行できる	
44 回	検定対策	学校認定ドッグトレーナーライセンスを合格するためのトレーニングプランを立て、実行できる	
45 回	検定対策	学校認定ドッグトレーナーライセンスを合格するためのトレーニングプランを立て、実行できる	
46 回	検定対策	学校認定ドッグトレーナーライセンスを合格するためのトレーニングプランを立て、実行できる	
47 回	検定対策	学校認定ドッグトレーナーライセンスを合格するためのトレーニングプランを立て、実行できる	
48 回	検定対策	学校認定ドッグトレーナーライセンスを合格するためのトレーニングプランを立て、実行できる	
49 回	検定対策	学校認定ドッグトレーナーライセンスを合格するためのトレーニングプランを立て、実行できる	
50 回	検定対策	今までのトレーニングの反省	

## 授業計画表

ドッグトレーナー

科

MCL盛岡ペットワールド専門学校

<b>科目名</b> しつけトレーニング学Ⅱ (問題行動の改善)	<b>教員名</b> 三上 祐太	
<b>科目時間数:</b> 40 時間	<b>授業の種類:</b> <input type="radio"/> 講義 ・ 演習 ・ <input checked="" type="radio"/> 実習	
<b>必修・選択の別:</b> <input checked="" type="radio"/> 必修・選択	<b>配当学年:</b> 2 <b>開講時期:</b> <input type="radio"/> 前期・ <input type="radio"/> 後期・集中	
<p><b>【授業の目的・ねらい】</b>          イヌの問題行動の改善の対処と問題行動の予防の知識を身に付ける。          飼い主の問題行動の悩みについて、悪化させないアドバイスが出来るようになる。</p> <p><b>【ドッグトレーナー科ディプロマポリシーとの関連】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 犬や飼い主の要望に合わせたサポートができる</li> <li>② 人と動物のより良い関係づくりのために活動ができる</li> <li>③ 動物と人の気持ちを考え、コミュニケーションが取れる</li> <li>④ 社会で活躍と働くという心構えができています</li> </ol> <p><b>【授業全体の内容の概要】</b>          犬の問題行動の種類、問題行動の改善の流れ、問題行動の改善方法、問題行動の予防          カウンセリングの仕方          家庭犬のトレーニング</p> <p><b>【授業における達成課題】</b>          筆記試験で正答率60%以上。</p>		
	使用教材	出版社
学生用	プリント等	
<p><b>【教員担当の実務経験の有無】</b> 有 ・ <input checked="" type="radio"/> 無</p> <p><b>【内 容】</b></p>		
<p><b>【評価方法とその内容】</b>          筆記試験で正答率60%以上、授業出席率80%以上。</p>		
<p><b>【必要な予習等の内容】</b>          翌日の実習内容を担当者に確認をして、必要な内容について教科書等を活用して確認をすることを指示し実行をする。</p>		

科目名 しつけトレーニング学Ⅱ（問題行動の改善）		科目時間総数 40	時間	教員名 三上 祐太
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標		
1	問題行動について	ペットの問題行動とは何かを学ぶ。ペットの問題行動に対処ができない場合のその後を知る。		
2	問題行動について	問題行動の種類を2種類理解し、分別することができる。		
3	問題行動について	問題行動が起きる原因を理解する。		
4	問題行動について	問題行動の改善の流れを理解する。		
5	問題行動について	犬の適切な飼育方法について復習をする。		
6	問題行動について	犬の適切な行動管理について復習をする。		
7	問題行動について	犬の社会化期を復習する。社会化トレーニングで得られる効果を学ぶ。		
8	問題行動について	犬の食事に問題がある場合に起る問題行動について学ぶ。		
9	問題行動について	犬の運動に問題がある場合に起る問題行動について学ぶ。		
10	問題行動について	犬の環境に問題がある場合に起る問題行動について学ぶ。		
11	問題行動について	犬の社会的な関わりに問題がある場合に起る問題行動について学ぶ。		
12	問題行動について	犬の性的欲求に問題がある場合に起る問題行動について学ぶ。		
13	問題行動について	犬の行動管理と犬の行動形成の違いを知る。		
14	問題行動について	犬の吠えに関する対処の仕方を学ぶ。		
15	問題行動について	犬の噛みつきに関する対処の仕方を学ぶ。		
16	問題行動について	他人や他犬を怖がることに関する対処の仕方を学ぶ。		
17	問題行動について	トイレの失敗に関する対処の仕方を学ぶ。		
18	問題行動について	カウンセリングの仕方を学ぶ		
19	問題行動について	カウンセリングの仕方を学ぶ		
20	問題行動について	カウンセリングの仕方を学ぶ		
21	家庭犬のトレーニング	家庭犬のしつけトレーニング	トレイトレーニングができる	
22	家庭犬のトレーニング	家庭犬のしつけトレーニング	吠え防止のトレーニングができる	
23	家庭犬のトレーニング	家庭犬のしつけトレーニング	吠え防止のトレーニングができる	
24	家庭犬のトレーニング	家庭犬のしつけトレーニング	噛みつき防止のトレーニングができる	
25	家庭犬のトレーニング	家庭犬のしつけトレーニング	噛みつき防止のトレーニングができる	
26	家庭犬のトレーニング	家庭犬のしつけトレーニング	社会化トレーニングできる	
27	家庭犬のトレーニング	家庭犬のしつけトレーニング	社会化トレーニングができる	
28	家庭犬のトレーニング	家庭犬のしつけトレーニング	社会化トレーニングできる	
29	家庭犬のトレーニング	家庭犬のしつけトレーニング	体を触るトレーニングができる	
30	家庭犬のトレーニング	家庭犬のしつけトレーニング	体を触るトレーニングができる	

時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標
31 回	家庭犬のトレーニング	家庭犬のしつけトレーニング お手入れに慣らすトレーニングができる
32 回	家庭犬のトレーニング	家庭犬のしつけトレーニング お手入れに慣らすトレーニングができる
33 回	家庭犬のトレーニング	家庭犬のしつけトレーニング お手入れに慣らすトレーニングができる
34 回	家庭犬のトレーニング	家庭犬のしつけトレーニング 苦手を克服するトレーニングができる
35 回	家庭犬のトレーニング	家庭犬のしつけトレーニング 苦手を克服するトレーニングができる
36 回	家庭犬のトレーニング	家庭犬のしつけトレーニング 苦手を克服するトレーニングができる
37 回	飼い主へのアドバイス	飼い主へのアドバイスの仕方を身に付ける
38 回	飼い主へのアドバイス	飼い主へのアドバイスの仕方を身に付ける
39 回	飼い主へのアドバイス	飼い主へのアドバイスの仕方を身に付ける
40 回	飼い主へのアドバイス	飼い主へのアドバイスの仕方を身に付ける

## 授業計画表

ドッグトレーナー 科

MCL盛岡ペットワールド専門学校

<b>科目名</b> ペットビジネス教養Ⅱ (社会人教養Ⅱ)	<b>教員名</b> 岩泉 美和子	
<b>科目時間数:</b> 20                            時間	<b>授業の種類:</b> (講義) ・ 演習 ・ 実習	
<b>必修・選択の別:</b> (必修)・選択	<b>担当学年:</b> 2   <b>開講時期:</b> (前期)・後期・集中	
<p><b>〔授業の目的・ねらい〕</b>          社会で活躍するために必要な能力の向上を目的とする。</p> <p><b>〔ドッグトレーナー科ディプロマポリシーとの関連〕</b>          ①. 犬や飼い主の要望に合わせたサポートができる          ②. 人と動物のより良い関係づくりのために活動ができる          ③. 動物と人の気持ちを考え、コミュニケーションが取れる          ④. 社会で活躍と働くという心構えができている</p> <p><b>〔授業全体の内容の概要〕</b>          アサーション、伝える力、聴く力、質問力、コーチング、仕事の基本を身に付ける。</p> <p><b>〔授業における達成課題〕</b>          筆記試験での正答が60%以上。</p>		
	使用教材	出版社
学生	プリント等	
<b>〔教員担当の実務経験の有無〕</b> (有)                    ・                    無		
<b>〔内 容〕</b> 金融機関関連企業等に勤務経験がある。		
<b>〔評価方法とその内容〕</b> 筆記試験において60点以上、授業出席率90%以上。		
<b>〔必要な予習等の内容〕</b> 次回の授業に向けて、プリントを活用して復習することを指示して実行する。		

科目名		科目時間総数	教員名
ペットビジネス教養Ⅱ（社会人教		20	岩泉 美和子
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標	
1	目標設定	1年の目標設定をする	
2	アサーション	自分も他人も大切にしたい自己表現の考え方と方法	
3	伝える力	心を動かす伝え方	
4	聴く力	信頼関係を築く聴き方	
5	問いかける力	質問力を磨く	
6	コーチング	コーチングの基本と目標設定	
7	コーチング	コーチング実践 目標達成フレームワークとメタ成果	
8	コーチング	効果的な質問をする	
9	コーチング	現状改善	
10	コーチング	行動傾向・対人スタイル分析	
11	コーチング	体験学習 課題解決について	
12	コーチング	体験学習 合意形成について	
13	仕事の基本	仕事の基本的なすすめ方	
14	仕事の基本	社会人と学生の違い 社会人としての自覚を持つ	
15	仕事の基本	正しい敬語と言葉づかい	
16	仕事の基本	正しい電話対応	
17	仕事の基本	訪問から帰るまでの流れ	
18	仕事の基本	ビジネス文書の作成	
19	仕事の基本	接客教養ライセンスに向けてのペアワーク	
20	振り返り	接客ライセンスの振り返り	



科目名 ペットビジネス教養Ⅱ(学校行事・資格)		科目時間総数 80	時間	教員名 平元 尚人
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標		
1	行事	ドッグフェスティバル準備		
2	行事	ドッグフェスティバル準備		
3	行事	ドッグフェスティバル準備		
4	行事	ドッグフェスティバル準備		
5	行事	ドッグフェスティバル準備		
6	行事	ドッグフェスティバル準備		
7	行事	ドッグフェスティバル準備		
8	行事	ドッグフェスティバル準備		
9	行事	ドッグフェスティバル準備		
10	行事	ドッグフェスティバル準備		
11	行事	ドッグフェスティバル準備		
12	行事	ドッグフェスティバル準備		
13	行事	ドッグフェスティバル準備		
14	行事	ドッグフェスティバル準備		
15	行事	ドッグフェスティバル準備		
16	行事	ドッグフェスティバル準備		
17	行事	ドッグフェスティバル準備		
18	行事	ドッグフェスティバル準備		
19	行事	ドッグフェスティバル準備		
20	行事	ドッグフェスティバル準備		
21	行事	ドッグフェスティバル		
22	行事	ドッグフェスティバル		
23	行事	ドッグフェスティバル		
24	行事	ドッグフェスティバル		
25	行事	ドッグフェスティバル		
26	行事	ドッグフェスティバル		
27	行事	ドッグフェスティバル		
28	行事	ドッグフェスティバル		
29	行事	ドッグフェスティバル		
30	行事	ドッグフェスティバル		

時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標
31 回	行事	ドッグフェスティバル 振り返り反省
32 回	行事	スポーツ大会
33 回	行事	スポーツ大会
34 回	行事	スポーツ大会
35 回	行事	スポーツ大会
36 回	行事	スポーツ大会
37 回	行事	スポーツ大会
38 回	行事	スポーツ大会 振り返り反省
39 回	資格検定	損害保険募集人資格
40 回	資格検定	損害保険募集人資格
41 回	資格検定	損害保険募集人資格
42 回	資格検定	損害保険募集人資格
43 回	資格検定	損害保険募集人資格
44 回	資格検定	損害保険募集人資格
45 回	資格検定	損害保険募集人資格
46 回	資格検定	損害保険募集人資格
47 回	資格検定	損害保険募集人資格
48 回	資格検定	損害保険募集人資格
49 回	行事	学園祭準備
50 回	行事	学園祭準備
51 回	行事	学園祭準備
52 回	行事	学園祭準備
53 回	行事	学園祭準備
54 回	行事	学園祭
55 回	行事	学園祭
56 回	行事	学園祭
57 回	行事	学園祭
58 回	行事	学園祭
59 回	行事	学園祭
60 回	行事	学園祭 振り返り反省

時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標
61 回	特別授業	国内研修
62 回	特別授業	国内研修
63 回	特別授業	国内研修
64 回	特別授業	国内研修
65 回	特別授業	国内研修
66 回	特別授業	国内研修
67 回	特別授業	国内研修
68 回	特別授業	国内研修
69 回	特別授業	国内研修
70 回	特別授業	国内研修
71 回	特別授業	国内研修
72 回	特別授業	国内研修
73 回	行事	MCLスポーツ大会
74 回	行事	MCLスポーツ大会
75 回	行事	MCLスポーツ大会
76 回	行事	MCLスポーツ大会
77 回	行事	MCLスポーツ大会
78 回	行事	MCLスポーツ大会
79 回	振り返り	今までの振り返り
80 回	今後の目標	今後の目標決め

## 授業計画表

ドッグトレーナー 科

MCL盛岡ペットワールド専門学校

<b>科目名</b> インターンシップ実習 II	<b>教員名</b> 平元 尚人	
<b>科目時間数:</b> 180 時間	<b>授業の種類:</b> (講義) ・ 演習 ・ (実習)	
<b>必修・選択の別:</b> (必修) ・ 選択	<b>担当学年:</b> 2	<b>開講時期:</b> (前期) ・ (後期) ・ 集中
<p><b>【授業の目的・ねらい】</b>                  修学した知識と技術が実際の動物関連分野でどのように活かされているかをペットサロン、ペットショップ、動物病院などで体験、実習をする。</p> <p><b>【ドッグトレーナー科ディプロマポリシーとの関連】</b>                  1. 犬や飼い主の要望に合わせたサポートができる                  2. 人と動物のより良い関係づくりのために活動ができる                  ③ 動物と人の気持ちを考え、コミュニケーションが取れる                  ④ 社会で活躍と働くという心構えができている</p> <p><b>【授業全体の内容の概要】</b>                  インターンシップ（職場実習）として、ペットサロン、ペットショップ、動物病院などの施設構造や機能を理解しすることで、実践的な動物関連の仕事内容と専門知識及び倫理観を習得する。また、インターンシップ先への実習依頼については、学生が行うことでビジネスマナーを身に付ける。</p> <p><b>【授業における達成課題】</b>                  動物関連業界への就職を実現するだけでなく、業界での活躍を目指す。</p>		
	<b>使用教材</b>	<b>出版社</b>
学生用	実践ビジネスマナー	ウイネット
<p><b>【教員担当の実務経験の有無】</b> (有) ・ 無</p> <p><b>【内 容】</b>                  ペットショップスタッフとしての勤務経験がある。</p> <p><b>【評価方法とその内容】</b>                  実習評価表（実習先記入）、インターンシップアンケート（実習先記入）、実習日誌・実習日程（学生、実習先記入）、インターンシップレポート・振り返りシート（学生記入）</p> <p><b>【必要な予習等の内容】</b>                  翌日の実習内容を担当者に確認をして、必要な内容について教科書等を活用して確認をする。</p>		

科目名		科目時間総数	教員名
インターンシップ実習Ⅱ		150 時間	平元 尚人
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標	
1 回	インターンシップ予定先への受入交渉	インターンシップ予定先への受入について、電話で交渉をする。	
2 回	インターンシップの実施の目標設定	インターンシップの目的や取り組みについて理解し上で、実習先や目標を設定する。	
3 回	インターンシップ(職場実習)	職場での実習により、具体的な仕事内容を理解する。	
4 回	インターンシップ(職場実習)	職場での実習により、具体的な仕事内容を理解する。	
5 回	インターンシップ(職場実習)	職場での実習により、具体的な仕事内容を理解する。	
6 回	インターンシップ(職場実習)	職場での実習により、具体的な仕事内容を理解する。	
7 回	インターンシップ(職場実習)	職場での実習により、具体的な仕事内容を理解する。	
8 回	インターンシップ(職場実習)	職場での実習により、具体的な仕事内容を理解する。	
9 回	インターンシップ(職場実習)	職場での実習により、具体的な仕事内容を理解する。	
10 回	インターンシップ(職場実習)	職場での実習により、具体的な仕事内容を理解する。	
11 回	インターンシップ(職場実習)	職場での実習により、具体的な仕事内容を理解する。	
12 回	インターンシップ(職場実習)	職場での実習により、具体的な仕事内容を理解する。	
13 回	インターンシップ(職場実習)	職場での実習により、具体的な仕事内容を理解する。	
14 回	インターンシップ(職場実習)	職場での実習により、具体的な仕事内容を理解する。	
15 回	インターンシップ(職場実習)	職場での実習により、具体的な仕事内容を理解する。	
16 回	インターンシップ(職場実習)	職場での実習により、具体的な仕事内容を理解する。	
17 回	インターンシップ(職場実習)	職場での実習により、具体的な仕事内容を理解する。	
18 回	インターンシップ(職場実習)	職場での実習により、具体的な仕事内容を理解する。	
19 回	インターンシップ(職場実習)	職場での実習により、具体的な仕事内容を理解する。	
20 回	インターンシップ(職場実習)	職場での実習により、具体的な仕事内容を理解する。	
21 回	インターンシップ(職場実習)	職場での実習により、具体的な仕事内容を理解する。	
22 回	インターンシップ(職場実習)	職場での実習により、具体的な仕事内容を理解する。	
23 回	インターンシップ(職場実習)	職場での実習により、具体的な仕事内容を理解する。	
24 回	インターンシップ(職場実習)	職場での実習により、具体的な仕事内容を理解する。	
25 回	インターンシップ(職場実習)	職場での実習により、具体的な仕事内容を理解する。	
26 回	インターンシップ(職場実習)	職場での実習により、具体的な仕事内容を理解する。	
27 回	インターンシップ(職場実習)	職場での実習により、具体的な仕事内容を理解する。	
28 回	インターンシップ(職場実習)	職場での実習により、具体的な仕事内容を理解する。	
29 回	インターンシップ(職場実習)	職場での実習により、具体的な仕事内容を理解する。	
30 回	インターンシップ(職場実習)	職場での実習により、具体的な仕事内容を理解する。	









